



Cisco Unity Connection ユーザ セットアップ ガイド

Release 1.x
Revised June 13, 2006



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。見当たらない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) パブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved.Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、すべてのマニュアルおよび上記各社のソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取り引きによって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCSP, CCVP, the Cisco Square Bridge logo, Follow Me Browsing, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0601R)

Cisco Unity Connection ユーザ セットアップ ガイド

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



このマニュアルについて	v
対象読者と用途	v
表記法	vi
Cisco Unity Connection Documentation	vi
技術情報の入手方法	vii
Cisco.com	vii
Product Documentation DVD (英語版)	vii
マニュアルの発注方法 (英語版)	vii
シスコシステムズマニュアルセンター	viii
シスコ製品のセキュリティの概要	ix
シスコ製品のセキュリティ問題の報告	ix
テクニカル サポート	x
Cisco Technical Support & Documentation Web サイト	x
Japan TAC Web サイト	x
サービス リクエストの発行	xi
サービス リクエストのシビラティの定義	xi
その他の資料および情報の入手方法	xii
<hr/>	
CHAPTER 1	
Cisco Personal Communications Assistant へのアクセスの設定	1-1
Cisco PCA にアクセスするためのインターネット ブラウザの設定	1-2
Apple Safari	1-2
Microsoft Internet Explorer	1-2
Mozilla Firefox	1-3
Cisco PCA パスワードの保護と変更	1-4
低帯域幅環境のための Cisco Unity Inbox のカスタマイズ	1-5
SSL 使用時のセキュリティ警告の管理	1-6
<hr/>	
CHAPTER 2	
Media Master の再生デバイスと録音デバイスの設定	2-1
Media Master について	2-2
ユーザが Media Master に使用する録音デバイスと再生デバイスの決定	2-3
電話を録音および再生デバイスとして使用する場合の動作	2-3

コンピュータのマイクロフォンとスピーカを録音および再生デバイスとして
 使用する場合の動作 2-3

録音および再生デバイスの設定をユーザが指定する方法 2-4

CHAPTER 3

**Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするための電子メール アカ
 ount の設定 3-1**

Cisco Unified Personal Communicator の設定 3-2

Apple Mail でのアカウントの作成および設定 3-3

Entourage でのアカウントの作成および設定 3-5

Eudora でのアカウントの作成および設定 3-7

IBM Lotus Notes でのアカウントの作成および設定 3-9

Microsoft Outlook でのアカウントの作成および設定 3-11

Microsoft Outlook Express でのアカウントの作成および設定 3-13

Netscape でのアカウントの作成および設定 3-15

Novell GroupWise でのアカウントの作成および設定 3-17

Opera でのアカウントの作成および設定 3-19

Thunderbird でのアカウントの作成および設定 3-21

IMAP クライアントのログオンに関する問題のトラブルシューティング 3-22

CHAPTER 4

ユーザの電話の設定 4-1

ユーザの電話を設定するためのタスク リスト 4-1

CHAPTER 5

ユーザのオリエンテーション 5-1

オリエンテーションのタスク リスト 5-1

ユーザが変更できる設定 5-4

CHAPTER 6

オペレータとサポート デスクのオリエンテーション 6-1

オペレータのオリエンテーション 6-2

サポート デスクのオリエンテーション 6-3

サポート デスクのリソース 6-3

考えられるユーザの疑問と誤解 6-3

INDEX

索引



このマニュアルについて

対象読者と用途

『Cisco Unity Connection ユーザ セットアップ ガイド』には、システム管理者が Cisco Unity Connection Web ツールにアクセスするユーザワークステーションの設定、ユーザの電話の設定、Connection ボイス メッセージにアクセスするための電子メール アカウントの設定、および初心者のユーザに対する説明を実施するために使用する情報や説明が含まれています。

表記法

表 1 Cisco Unity Connection ユーザ セットアップ ガイド 表記法

表記法	説明
太字	次の場合は太字を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> キーおよびボタン名 (例: [OK] をクリックします) ユーザが入力する情報 (例: [ユーザ名] ボックスに [管理者] を入力します)
<> (山カッコ)	ユーザが入力するパラメータを囲むために使用します (例: [コマンド プロンプト] ウィンドウで、ping <IP アドレス> を入力します)
- (ハイフン)	同時に押す必要があるキーを表します (例: Ctrl-Alt-Delete を押します)
> (右山カッコ)	選択する順序を表します。(例: Windows の [スタート] メニューから [設定] > [コントロール パネル] > [電話とモデムのオプション] を選択します)

『Cisco Unity Connection ユーザ セットアップ ガイド』は、次の表記法を使用しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

Cisco Unity Connection Documentation

Cisco.com にある Cisco Unity Connection に関するドキュメントの URL および説明については、『Cisco Unity Connection Documentation Guide』を参照してください。ドキュメントは、Cisco Unity Connection と同時に出荷されます。また、次の URL でも入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_documentation_roadmaps_list.html

技術情報の入手方法

シスコの製品マニュアルやその他の資料は、Cisco.com でご利用いただけます。また、テクニカルサポートおよびその他のリソースを、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

最新のシスコドキュメントには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

このマニュアルには、日本語化されたマニュアル名と英語版 URL が併記された箇所があります。日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_uc_cuc.shtml

Product Documentation DVD (英語版)

Product Documentation DVD は、技術情報を包含する製品マニュアルをポータブルなメディアに格納した、包括的なライブラリです。この DVD を使用することにより、シスコ製の各ハードウェアやソフトウェアのインストール、コンフィギュレーション、およびコマンドに関する複数のバージョンのマニュアルにアクセスできます。また、この DVD を使用すると、シスコの Web サイトで参照できるのと同じ HTML マニュアルに、インターネットに接続せずにアクセスできます。一部の製品については、PDF 版のマニュアルもご利用いただけます。

Product Documentation DVD は、1 回単位で入手することも、または定期購読することもできます。Cisco.com 登録ユーザ (Cisco Direct Customers) の場合、次の URL の Cisco Marketplace から Product Documentation DVD (Product Number DOC-DOCDVD= または DOC-DOCDVD=SUB) を発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの発注方法 (英語版)

Cisco.com 登録ユーザの場合、Cisco Marketplace の Product Documentation Store からシスコ製品の英文マニュアルを発注できるようになっています。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

シスコ製品のセキュリティの概要

シスコでは、オンラインの Security Vulnerability Policy ポータル (英文のみ) を無料で提供していません。URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトでは、次のタスクの実行方法に関する情報が得られます。

- シスコ製品のセキュリティ脆弱性を報告する。
- シスコ製品に伴うセキュリティ事象についてサポートを受ける。
- シスコからセキュリティ情報を受け取るための登録をする。

シスコ製品に関するセキュリティ勧告、セキュリティに関する注意事項およびセキュリティ対応の最新のリストには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

セキュリティ勧告、セキュリティに関する注意事項およびセキュリティ対応がアップデートされた時点でリアルタイムに確認する場合は、次の URL から Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) フィードに加入してください。PSIRT RSS フィードへの加入方法に関する情報は、次の URL で確認できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、セキュアな製品を提供すべく全力を尽くしています。製品のリリース前には内部でテストを行い、すべての脆弱性を早急に修正するよう努力しています。万一、シスコ製品に脆弱性が見つかった場合は、PSIRT にご連絡ください。

- 緊急の場合 : security-alert@cisco.com (英語のみ)
緊急とは、システムがアクティブな攻撃を受けている場合、または至急の対応を要する重大なセキュリティ上の脆弱性が報告されている場合を指します。これに該当しない場合はすべて、緊急でないと思なされます。
- 緊急でない場合 : psirt@cisco.com (英語のみ)

緊急の場合は、電話で PSIRT に連絡することもできます。

- 1 877 228-7302 (英語のみ)
- 1 408 525-6532 (英語のみ)



ヒント

シスコに機密情報をお送りいただく際には、PGP (Pretty Good Privacy) または互換製品 (GnuPG など) を使用して、暗号化することをお勧めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x から 9.x と互換性のある暗号化情報に対応しています。

無効になった、または有効期限が切れた暗号鍵は、絶対に使用しないでください。PSIRT に連絡する際に使用する正しい公開鍵には、Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションからリンクできます。次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページ上のリンクからは、現在使用されている最新の PGP 鍵の ID にアクセスできます。PGP を持っていない、または使用していない場合は、機密情報を送信する前に前述のメール アドレスまたは電話番号で PSIRT に問い合わせ、他のデータ暗号化方法を確認してください。

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、24 時間テクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、多数のサポート リソースをオンラインで提供しています。また、シスコと正式なサービス契約を交わしているお客様には、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアが電話でのサポートにも対応します。シスコと正式なサービス契約を交わしていない場合は、代理店にお問い合わせください。

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、シスコ製品やシスコの技術に関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。この Web サイトは、24 時間、いつでも利用可能です。URL は次のとおりです。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトのツールにアクセスするには、Cisco.com のユーザ ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ユーザ ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

Web または電話でサービス リクエストを発行する前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して製品のシリアル番号を確認してください。CPI ツールには、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトから、Documentation & Tools の下の **Tools & Resources** リンクをクリックするとアクセスできます。アルファベット順の索引ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下の **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックします。CPI ツールには、3 つの検索オプションがあります。製品 ID またはモデル名による検索、ツリー表示による検索、**show** コマンド出力のコピー アンド ペーストによる特定製品の検索です。検索結果では、製品が図示され、シリアル番号ラベルの位置が強調表示されます。ご使用の製品でシリアル番号ラベルを確認し、その情報を記録してからサービス コールをかけてください。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

サービス リクエストの発行

オンラインの TAC Service Request Tool を使用すると、S3 と S4 のサービス リクエストを短時間でオープンできます (S3: ネットワークに軽微な障害が発生した、S4: 製品情報が必要である)。状況を入力すると、その状況を解決するための推奨手段が検索されます。これらの推奨手段で問題を解決できない場合は、シスコのエンジニアが対応します。TAC Service Request Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

S1 または S2 のサービス リクエストの場合、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください (S1: ネットワークがダウンした、S2: ネットワークの機能が著しく低下した)。S1 および S2 のサービス リクエストには、シスコのエンジニアがすぐに割り当てられ、業務を円滑に継続できるようサポートします。

Cisco TAC の連絡先については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

サービス リクエストのシビラティの定義

シスコでは、報告されるサービス リクエストを標準化するために、シビラティを定義しています。

シビラティ 1 (S1): ネットワークがダウンした状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 2 (S2): 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 3 (S3): ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。

シビラティ 4 (S4): シスコ製品の機能、インストレーション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- 『Cisco Product Quick Reference Guide』は手軽でコンパクトな参照ツールです。チャネルパートナー経由で販売される多くのシスコ製品に関する簡単な製品概要、主要な機能、サンプル部品番号、および簡単な技術仕様を記載しています。年 2 回の更新の際には、シスコの最新情報が収録されます。『Cisco Product Quick Reference Guide』の注文方法および詳細については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/guide>

- Cisco Marketplace では、シスコの書籍やリファレンス ガイド、マニュアル、ロゴ製品を数多く提供しています。購入を希望される場合は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーク全般、トレーニング、および認定資格に関する出版物を幅広く発行しています。これらの出版物は、初級者にも上級者にも役立ちます。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Packet』はシスコシステムズが発行する技術者向けの雑誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するために役立ちます。本誌は季刊誌として発行され、業界の最先端トレンド、最新テクノロジー、シスコ製品やソリューション情報が記載されています。また、ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、認定情報とトレーニング情報、および充実したオンラインサービスへのリンクの内容が含まれます。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

日本語版『Packet』は、米国版『Packet』と日本版のオリジナル記事で構成されています。日本語版『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet/>

- 『iQ Magazine』はシスコシステムズの季刊誌で、成長企業が収益を上げ、業務を効率化し、サービスを拡大するためには技術をどのように利用したらよいかを学べるように構成されています。本誌では、事例とビジネス戦略を挙げて、成長企業が直面する問題とそれを解決するための技術を紹介し、読者が技術への投資に関して適切な決定を下せるよう配慮しています。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

デジタル版には、次の URL からアクセスできます。

<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコシステムズが提供するネットワーキング製品、および各種のカスタマー サポート サービスは、次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は対話形式の Web サイトです。このサイトでは、ネットワーキング製品やテクノロジーに関する質問、提案、および情報をネットワーキング担当者がシスコの専門家や他のネットワーキング担当者と共に共有できます。次の URL にアクセスしてディスカッションに参加してください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>



Cisco Personal Communications Assistant へのアクセスの設定

Cisco Personal Communications Assistant (PCA) は、Cisco Unity Web ツールにアクセスできるポータルで、ユーザはこのツールを使用すると、Cisco Unity Connection でメッセージおよび個人設定を管理できます。Cisco Unity Web ツールには、Cisco Unity Assistant、Cisco Unity Inbox、および Cisco Unity パーソナル着信転送ルールがあります。Cisco PCA は、インストール時に Connection サーバにインストールされます。

この章にある次の項を参照してください。

- [Cisco PCA にアクセスするためのインターネット ブラウザの設定 \(P.1-2\)](#)
- [Cisco PCA パスワードの保護と変更 \(P.1-4\)](#)
- [低帯域幅環境のための Cisco Unity Inbox のカスタマイズ \(P.1-5\)](#)
- [SSL 使用時のセキュリティ警告の管理 \(P.1-6\)](#)

Cisco PCA にアクセスするためのインターネット ブラウザの設定

Cisco PCA および Web ツールを使用するには、各ユーザワークステーション上のブラウザを設定する必要があります。コンピュータにインストールされているブラウザに応じて、適切な項を参照してください。

- [Apple Safari \(P.1-2 \)](#)
- [Microsoft Internet Explorer \(P.1-2 \)](#)
- [Mozilla Firefox \(P.1-3 \)](#)

(ブラウザのバージョン サポートについては、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_device_support_tables_list.html から入手可能な『*互換性マトリクス : Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア*』を参照してください。)

Cisco PCA で使用される GUI 言語を変更するには、インターネット ブラウザで言語を選択します。ブラウザで選択する言語は、Cisco PCA が提供する言語のいずれかである必要があります。サポートされている言語のリストについては、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html から入手可能な『*Release Notes for Cisco Unity Connection*』の「Available Languages for Cisco Unity Connection Components」の項を参照してください。

Apple Safari

Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Safari を設定します。

1. 最新の Java 2 Platform, Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Release 3 以降をインストールします。
2. 次に示すように Safari を設定します。
 - a. Java を有効にする。
 - b. Java スクリプトを有効にする。
 - c. 移動したサイトからのみクッキーを受け入れる。

Microsoft Internet Explorer


Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Internet Explorer を設定します。

1. 最新の Java 2 Platform, Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降をインストールします。
2. 次に示すように Internet Explorer を設定します。
 - a. アクティブスクリプトを有効にする。
 - b. ActiveX コントロールをダウンロードして実行する。
 - c. Java スクリプトを有効にする。
 - d. ファーストパーティのクッキーを受け入れる (注: 必要に応じて、サードパーティのクッキーをブロックするように Internet Explorer を設定することもできます)。
 - e. 一時的なインターネット ファイルの新しいバージョンを自動的にチェックする。
 - f. [中 - 高] のプライバシーを有効にする。

Mozilla Firefox

Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Firefox を設定します。

1. コンピュータのオペレーティングシステムに応じて、適切なソフトウェアをインストールします。

Mac OS X	<ol style="list-style-type: none"> a. 最新の Java 2 Platform, Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Release 3 以降をインストールします。 b. Java Embedding Plugin for Mac OS X バージョン 0.9.5 以降をインストールします。¹
Red Hat	<ol style="list-style-type: none"> a. Alsa-project.org の Web サイトにあるサウンドカードサポートマトリックスを参照して、正しいサウンドカードを使用していることを確認します。 <p> (注) J2SE ソフトウェアは、Advanced Linux Sound Architecture (ALSA) ドライバを使用して、システムサウンドデバイスにアクセスし、再生および録音機能を制御します。サウンドカードによっては、再生および録音機能が制限される場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> b. Alsa-project.org の Web サイトから、Advanced Linux Sound Architecture (ALSA) ドライババージョン 1.0.9 以降をインストールします。 c. 最新の Java 2 Platform, Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降をインストールします。
Windows	最新の Java 2 Platform, Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降をインストールします。

1. Java Embedding Plugin for Mac OS X は、Firefox バージョン 1.5.0.1 以降に付属しています。

2. 次に示すように Firefox を設定します。
 - a. Java を有効にする。
 - b. [JavaScript を有効にする] > [JavaScript 詳細設定] で [画像を別のものに置き換える]
 - c. クッキー を有効にする (セキュリティのため、[元の Web サイトからの クッキー のみ保存する] に設定することをお勧めします)。

Cisco PCA パスワードの保護と変更

ユーザは Cisco PCA にログオンするときに、ユーザ名とパスワードを入力します。Cisco PCA パスワードは Cisco Unity Connection 電話パスワードとは無関係です。また、2つのパスワードは同期されていません。



(注)

Cisco PCA パスワードは、Cisco Unity Connection Administration で「Web アプリケーションパスワード」とみなされます。

ユーザパスワードの変更は、ユーザアカウントの作成後に Cisco Unity Connection Administration で行うことができます。各ユーザには一意のパスワードを割り当てる必要があります。長くて(8文字以上)、単純でないパスワードを指定する必要があります。Cisco PCA の場合、単純でないパスワードの属性は次のとおりです。

- 大文字、小文字、数値、または記号の4つの文字のうち、少なくとも3つが必要。
- ユーザ名やそれを逆にしたものは使用できない。
- プライマリ内線番号やそれを逆にしたものは使用できない。
- 文字は4回以上続けて使用できない(たとえば !Cooool)。
- 文字列全体を昇順または降順の連続(たとえば abcdef や fedcba)にすることはできない。

ユーザアカウントの設定方法によっては、ユーザが最初にログオンしたときに Cisco PCA パスワードを変更するよう要求できます。ユーザには、Cisco PCA パスワードを変更する場合は必ず安全なパスワードを入力するよう推奨します。または、その入力をユーザに要求するように、Cisco PCA の安全なパスワードのポリシーを設定します。ログオンポリシー、パスワードポリシー、およびロックアウトポリシーは、Connection Administration の [Edit Authentication Rules] ページで定義します。

ユーザが Cisco PCA パスワードを変更できるのは、Cisco Unity Assistant を使用する場合のみです。Connection ガイダンスを使用して変更することはできません。

ユーザは、電話パスワードと Cisco PCA パスワードが同じであると考えている可能性があります。その結果、初回登録時に Connection ガイダンスで電話パスワードの変更を要求されたときに、両方のパスワードが変更されると考える場合があります。このため、Cisco PCA パスワードを保護するように要求しても、多くのユーザがこれを考慮しない場合があります。

デフォルトのボイスメールパスワードおよび Web アプリケーションパスワードは、作成した各ユーザアカウントに適用されます。これらのパスワードは、インストール時にデフォルトの Voice Mail User テンプレートに対して設定されたデフォルトであるか(Cisco Unity Connection Configuration Assistant の [Set Default User Template Password] ページで設定)またはアカウントの作成時に選択したユーザテンプレートの [Change Password] ページで設定されたデフォルトです。システムのセキュリティを強化するために、両方のパスワードをできる限り早く変更するようユーザに指示すると共に、パスワードの複雑さを規定するルールを適用してください。

低帯域幅環境のための Cisco Unity Inbox のカスタマイズ

低帯域幅環境（たとえば、低速モデムまたは支社での使用）でコンピュータのスピーカを使用して録音を再生する場合、最適なパフォーマンスと音質を得るには、メッセージをダウンロードしてから再生する必要があります。

再生中に Cisco Unity Connection サーバからストリーミングするのではなく、メッセージをダウンロードするように Cisco Unity Inbox をカスタマイズするには、次の作業を実行して、ユーザワークステーションごとに [機能] の設定を変更します（該当する場合）。または、この設定の変更方法について、ユーザには『Cisco Unity Connection ユーザガイド』を参照してもらいます。

メッセージを再生前にダウンロードするように Cisco Unity Inbox をカスタマイズする

-
- ステップ 1** Cisco PCA のホーム ページで、Cisco Unity Inbox リンクをクリックします。
 - ステップ 2** Cisco Unity Inbox で、Media Master を含むページに移動します（たとえば、新しいメッセージのアイコンをクリックして新しいメッセージ ウィンドウを開きます）。
 - ステップ 3** Media Master のオプション メニューで、[再生と録音] をクリックします。
 - ステップ 4** [再生と録音の設定] ダイアログボックスの [機能] で、[再生前にすべてのメッセージをダウンロードする] をクリックします。
 - ステップ 5** [OK] をクリックします。
-

SSL 使用時のセキュリティ警告の管理

Cisco PCA から Connection へのアクセスをセキュリティで保護するために SSL 証明書を Cisco Unity Connection サーバにインストールした場合は、証明書をユーザワークステーション上の信頼できるルートストアに追加することが必要になる場合があります。証明書をユーザワークステーションにインストールしなくても、ユーザは Cisco PCA を使用できます。ただし、Web ブラウザには、サイトの真正性が検証できないためコンテンツが信頼できないことをユーザに警告するメッセージが表示されます。Connection サーバへの接続に使用される URL が、Cisco Unity Connection ソフトウェアインストール時のサーバのホスト名と異なる場合にも、この警告メッセージが表示されることがあります。

IMAP 電子メールクライアントから Connection へのアクセスをセキュリティで保護するために SSL 証明書をインストールした場合は、証明書をユーザワークステーション上の信頼できるルートストアに追加することが必要になる場合があります。Connection との連携がサポートされている IMAP 電子メールクライアントの中には、SSL セキュリティ メッセージが表示されるものと、表示されないものがあります。

クライアント コンピュータが Windows Server 2003 を実行しており、ユーザが Internet Explorer 6.0 を使用して Cisco Personal Communications Assistant にアクセスする場合は、次の「[Cisco Unity Connection サーバを Internet Explorer 2003 の信頼済みサイトのリストに追加する](#)」の手順をユーザに知らせてください。この手順は、Cisco Unity Connection サーバを、信頼済みサイトのリストに追加するためのものです。Cisco PCA を正常に動作させるには、この追加の設定手順をそのユーザワークステーションで実行する必要があります。

Cisco Unity Connection サーバを Internet Explorer 2003 の信頼済みサイトのリストに追加する

-
- ステップ 1** [Cisco Personal Communications Assistant] ログイン ページを開きます。Cisco PCA にログインする必要はありません。
 - ステップ 2** Internet Explorer の [ファイル] メニューで、[このサイトを追加]>[信頼済みサイト ゾーン] をクリックします。
 - ステップ 3** [信頼済みサイト] ダイアログボックスで、[追加] をクリックします。
 - ステップ 4** [閉じる] をクリックして、[信頼済みサイト] ダイアログボックスを閉じます。
 - ステップ 5** Internet Explorer を再起動します。
-



Media Master の再生デバイスと録音デバイスの設定

Media Master は、Cisco Unity Web ツールで録音および再生を行うときに使用します。

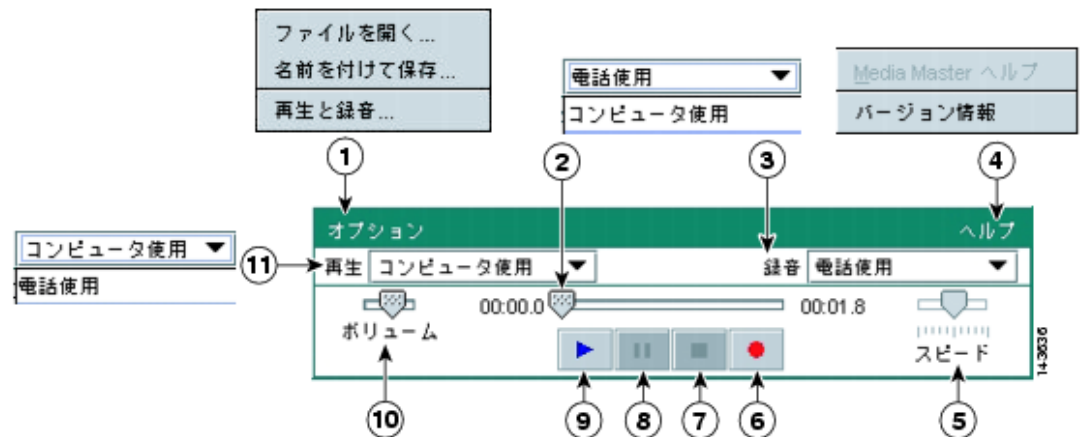
この章にある次の項を参照してください。

- [Media Master について \(P.2-2\)](#)
- [ユーザが Media Master に使用する録音デバイスと再生デバイスの決定 \(P.2-3\)](#)
- [録音および再生デバイスの設定をユーザが指定する方法 \(P.2-4\)](#)

Media Master について

Media Master は Cisco Unity Inbox および Cisco Unity パーソナル着信転送ルール Web ツールのページに表示されます。このページでは、ユーザは録音または再生を行うことができます。Cisco Unity Connection の設定方法によっては、Media Master は Cisco Unity Assistant の一部のページに表示される場合もあります。ユーザは録音および再生を行うときに、Media Master コントロールと共に、電話、またはコンピュータのマイクロフォンとスピーカを使用できます。

図 2-1 Media Master コントロールバー



1	[オプション] メニュー	7	停止
2	録音 / 再生の進捗状況	8	一時停止
3	録音リスト	9	再生
4	[ヘルプ] メニュー	10	音量調整つまみ
5	再生スピード調整つまみ	11	再生リスト
6	録音		

Media Master は Java 2 Platform, Standard Edition (J2SE) アプリケーションであり、正しく動作させるには Java プラグイン コンポーネントをユーザ ワークステーションにインストールする必要があります。



(注)

インターネット ブラウザによっては、Java プラグイン コンポーネントがインストールされていないと、Media Master がブラウザウィンドウに表示されないか、またはコンポーネントをインストールするよう求められます (P.1-2 の「Cisco PCA にアクセスするためのインターネット ブラウザの設定」を参照してください)。

Media Master を持つ Cisco Unity Web ツールをユーザが使用する前に、ユーザが電話を録音および再生デバイスとして使用できるよう、ボイス メッセージ ポートを少なくとも 1 つ Connection に指定します。指定するには、Cisco Unity Connection Administration の [Telephony Integrations] > [Port] ページで [Allow TRAP Connections] の設定を調整します。詳細については、『Cisco Unity Connection System Administration Guide』の「Managing the Phone System Integrations」の章にある「Changing Port Settings」の項を参照してください (このガイドは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html から入手可能です)。

また、電話を録音および再生デバイスとして使用しないユーザには、サウンドカード、イヤホンまたはスピーカ、およびマイクロフォンを支給する必要があります。

ユーザが Media Master に使用する録音デバイスと再生デバイスの決定

ユーザが使用する録音デバイスと再生デバイスを決定するときは、次のことを考慮してください。

- 電話を録音に使用すると最適な音質が得られます。電話は Media Master のデフォルトの録音および再生デバイスです。
- ユーザが電話を録音および再生デバイスとして使用できるよう、この用途のボイスメッセージポートを少なくとも 1 つ Cisco Unity Connection に指定する必要があります。ユーザがコンピュータのマイクロフォンとスピーカを使用してメッセージやその他の録音を聞く場合、ポートは使用されません。その結果、Connection サーバの負荷が軽減され、ポートが他の機能で使用できる状態になります。
- 電話を録音および再生デバイスとして使用しないユーザには、サウンドカード、スピーカ、およびマイクロフォンを支給する必要があります。

電話、またはコンピュータのマイクロフォンとスピーカを録音および再生に使用する場合に発生するイベントの詳細については、次の各項を参照してください。

- [電話を録音および再生デバイスとして使用する場合の動作 \(P.2-3\)](#)
- [コンピュータのマイクロフォンとスピーカを録音および再生デバイスとして使用する場合の動作 \(P.2-3\)](#)

電話を録音および再生デバイスとして使用する場合の動作

Cisco PCA からアクセスする Web ツール (および Cisco Unity Connection Administration) においてユーザが電話を録音および再生デバイスとして使用すると、次のイベントが発生します。

1. ユーザが、録音または再生を行うために、クライアントアプリケーションで適切なオプションをクリックします。
2. クライアントアプリケーションが Cisco Unity Connection に対し、ユーザの内線番号に電話するよう要求し、Connection が内線番号に電話します。
3. 録音する場合、ユーザが電話に応答し、メッセージ、名前、またはグリーティングの録音を開始します。ユーザが電話を切ると、クライアントアプリケーションが Connection に対し、録音が終了したことを通知します。
4. 録音を再生する場合、ユーザが電話に応答し、クライアントアプリケーションが Connection に対し、メッセージを再生するよう要求します。次に、Connection が電話を通じて録音をストリーミングします。

コンピュータのマイクロフォンとスピーカを録音および再生デバイスとして使用する場合の動作

ユーザがコンピュータのマイクロフォンとスピーカを録音デバイスおよび再生デバイスとして使用する場合は、次のイベントが発生します。

1. ユーザが、録音または再生を行うために、クライアントアプリケーションで適切なオプションをクリックします。
2. 録音する場合、ユーザがマイクロフォンに向かって話し始めます。ユーザが、録音を停止するため、クライアントアプリケーションで適切なオプションをクリックすると、クライアントアプリケーションが Cisco Unity Connection に対し、録音が終了したことを通知します。

3. 録音を再生する場合、Connection がクライアント アプリケーションに対してメッセージをストリーミングします。ストリーミングは、ネットワーク トラフィックに関係なく、オンデマンドで発生します。クライアントアプリケーションは、ユーザワークステーションのメモリに数秒間のメッセージがバッファリングされるとすぐに、スピーカでメッセージを再生し始めます。

録音および再生デバイスの設定をユーザが指定する方法

ユーザは、録音および再生デバイスの設定を各自で指定できます。たとえば、Media Master のオプション メニューを使用して、録音デバイスと再生デバイスを各自で選択することができます。Media Master の録音および再生の設定は、ユーザごと、およびワークステーションごとに保存されます。これは、次のようなことを意味します。

- ユーザが録音デバイスと再生デバイスを変更するには、オプション メニュー、または Web ツール ページにある任意の Media Master の再生リストと録音リストを使用します。ユーザが選択する録音デバイスと再生デバイスはすべての Cisco Unity Web ツールに適用されます。ただし、変更が最初に行われたワークステーションからアプリケーションにアクセスする場合に限られます。
- 複数のユーザが同じワークステーションを共有する場合は、ワークステーションを使用する各ユーザが録音デバイスと再生デバイスの選択を指定する必要があります。
- ユーザが、あるワークステーションから録音デバイスと再生デバイスの選択を更新した場合、別のワークステーション（自宅のコンピュータなど）でも Web ツールにアクセスするときは、その別のワークステーションに対しても録音デバイスと再生デバイスの選択を指定する必要があります。



Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするための電子 メール アカウントの設定

Cisco Unity Connection では、ライセンス ユーザが、サードパーティの IMAP クライアントを使用して、デスクトップ マシンからボイス メッセージにアクセスできます。現在、IMAP クライアントではボイス メッセージの再生だけを行うことができ、返信機能や転送機能はありません。

この章にある次の項を参照してください。

- [Cisco Unified Personal Communicator の設定 \(P.3-2 \)](#)
- [Apple Mail でのアカウントの作成および設定 \(P.3-3 \)](#)
- [Entourage でのアカウントの作成および設定 \(P.3-5 \)](#)
- [Eudora でのアカウントの作成および設定 \(P.3-7 \)](#)
- [IBM Lotus Notes でのアカウントの作成および設定 \(P.3-9 \)](#)
- [Microsoft Outlook でのアカウントの作成および設定 \(P.3-11 \)](#)
- [Microsoft Outlook Express でのアカウントの作成および設定 \(P.3-13 \)](#)
- [Netscape でのアカウントの作成および設定 \(P.3-15 \)](#)
- [Novell GroupWise でのアカウントの作成および設定 \(P.3-17 \)](#)
- [Opera でのアカウントの作成および設定 \(P.3-19 \)](#)
- [Thunderbird でのアカウントの作成および設定 \(P.3-21 \)](#)

使用する IMAP クライアント アプリケーションに関係なく、ユーザは、Cisco Unity Assistant で Cisco Personal Communications Assistant へのアクセスに使用する Cisco Unity Connection Web アプリケーション パスワードを変更した場合、このパスワードを IMAP クライアント アプリケーションでも更新する必要があります。サードパーティの IMAP クライアントと Cisco Personal Communications Assistant の間でパスワードは自動的に同期されません。ユーザは、Cisco PCA パスワードを変更するたびに IMAP クライアントでパスワードを手動で変更する必要があります。これで、引き続き IMAP クライアントを使用して Connection アカウントにアクセスし、ボイス メッセージを取得できます。詳細については、[P.3-22 の「IMAP クライアントのログオンに関する問題のトラブルシューティング」](#)を参照してください。

Cisco Unified Personal Communicator の設定

Cisco Unified Personal Communicator を使用して Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするには、次の情報を Personal Communicator に追加します。

- Connection ユーザ名。
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection Administration のユーザ ページで設定される Web アプリケーション パスワードです)。

Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするために Cisco Unified Personal Communicator を設定する方法については、『*User Guide for Cisco Unified Personal Communicator*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/tsd_products_support_series_home.html) または Cisco Unified Personal Communicator のヘルプを参照してください。

Apple Mail でのアカウントの作成および設定

Apple Mail を使用して Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Apple Mail アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス。
- Connection ユーザ名。
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection Administration のユーザ ページで設定される Web アプリケーション パスワードです)。
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名。

Apple Mail で新規アカウントを作成および設定する

ステップ 1 Apple Mail を起動します。

ステップ 2 Apple Mail の [Mail] メニューで、[Preferences] をクリックします。

ステップ 3 [Preferences] ダイアログボックスの一番上にある [Accounts] をクリックします。

ステップ 4 左下隅にある [+] をクリックします。

ステップ 5 [Account Type] リストで、[IMAP] をクリックします。

ステップ 6 [Description] フィールドに、アカウントの名前を入力します。この名前は Apple Mail だけで表示されます。

ステップ 7 [E-Mail Address] フィールドに、ユーザの Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

ステップ 8 [Full Name] フィールドに、ユーザ名を入力します。

ステップ 9 [Incoming Mail Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



注意 ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

ステップ 10 [User Name] フィールドに、Connection ユーザ名を入力します。

ステップ 11 [Password] フィールドに、Cisco PCA パスワードを入力します。

ステップ 12 [Outgoing Mail Server (SMTP)] フィールドで、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名をクリックします。

Connection サーバは、実際には、送信用メール サーバとして機能しませんが、次のページに進むには値を指定する必要があります。

ステップ 13 [Server Settings] をクリックします。

ステップ 14 オプションで、[SMTP Server Options] ダイアログボックスの [Use Secure Sockets Layer (SSL)] チェックボックスをオンにします。

**注意**

SSL を使用するように Apple Mail を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザー名とパスワード、および Connection から送信されるボイスメッセージは暗号化されません。

ステップ 15 [Authentication] リストで、[Password] をクリックします。

ステップ 16 [OK] をクリックして、[SMTP Options] ダイアログボックスを閉じます。

ステップ 17 [Advanced] タブをクリックします。

ステップ 18 [Keep Copies of Messages for Offline Viewing] リストで、適切なオプションを選択します。

ステップ 19 [Preferences] ダイアログボックスを閉じます。

ステップ 20 [Save Changes] ダイアログボックスで、[Save] をクリックします。

Entourage でのアカウントの作成および設定

Entourage を使用して Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Entourage アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス。
- Connection ユーザ名。
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection Administration のユーザ ページで設定される Web アプリケーション パスワードです)。
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名。

Entourage で新規アカウントを作成および設定する

ステップ 1 Entourage を起動します。

ステップ 2 Entourage の [Tools] メニューで、[Accounts] をクリックします。

ステップ 3 [Accounts] ダイアログボックスで、[New] をクリックします。

ステップ 4 [Account Setup Assistant] で、ユーザの Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

ステップ 5 右矢印をクリックします。

[Automatic Configuration Failed] ダイアログボックスで、右矢印をクリックします。

ステップ 6 [Verify and Complete Settings] ページで、次の値を入力します。

- [Your Name] フィールドに、ユーザ名を入力します。
- [E-Mail Address] フィールドに、[ステップ 4](#) で入力した値が表示されます。表示されない場合は、その値に変更します。
- [Account ID] フィールドに、Connection ユーザ名を入力します。この値は、Connection エイリアスと同じ場合も、そうでない場合もあります。
- [Password] フィールドに、Cisco PCA パスワードを入力します。
- [Incoming Mail Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



注意 ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

- [Incoming Mail Server Type] リストで、[IMAP] をクリックします。
- [Outgoing Mail Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

Connection サーバは、実際には、送信用メール サーバとして機能しませんが、次のページに進むには値を指定する必要があります。

h. 右矢印をクリックします。

ステップ 7 [Optional: Verify Settings] ページで設定を確認する場合は、[Verify My Settings] をクリックし、次の手順を実行します。

a. 確認が失敗した場合は、問題のトラブルシューティングを行います。

b. 確認が成功したら、右矢印をクリックして**ステップ 8**に進みます。

設定を確認しない場合は、右矢印をクリックします。Do You Want to Verify Your Account Settings というメッセージが表示されます。[Skip] をクリックします。

ステップ 8 [Setup Complete] ページの [Account Name] フィールドに、このアカウントの表示名を入力します。表示名は Entourage だけで表示されます。

ステップ 9 必要に応じて、その他のオプションをオンまたはオフにします。

ステップ 10 [Finish] をクリックします。

ステップ 11 [Accounts] ダイアログボックスで、アカウントをクリックし、[Edit] をクリックします。

ステップ 12 [Options] タブをクリックします。

ステップ 13 [Partially Receive Messages Over] チェックボックスをオフにします。

ステップ 14 [Advanced] タブをクリックします。

ステップ 15 次の 3 つのチェックボックスをオフにします。

- Store Sent Messages in This IMAP Folder
- Store Drafts in This IMAP Folder
- Store Junk E-Mail in This IMAP Folder

ステップ 16 [Mark Messages As Deleted] をクリックします。

ステップ 17 削除済みメッセージを完全に削除するタイミングを選択します。

ステップ 18 オプションで、ユーザ名とパスワードをネットワーク経由で送信するときに Entourage が SSL を使用するように設定します。



注意

SSL を使用するように Entourage を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイスメッセージは暗号化されません。

a. [Account Settings] タブをクリックします。

b. [Click Here for Advanced Receiving Options] をクリックします。

c. ポップアップ ウィンドウで、[This IMAP Service Requires a Secure Connection (SSL)] チェックボックスをオンにします。

d. ポップアップ ウィンドウを閉じます。

ステップ 19 [OK] をクリックして、[Edit Account] ダイアログボックスを閉じます。

ステップ 20 [Accounts] ダイアログボックスを閉じます。

Eudora でのアカウントの作成および設定

Eudora を使用して Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Eudora アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス。
- Connection ユーザ名。
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection Administration のユーザ ページで設定される Web アプリケーション パスワードです)。
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名。

Eudora で新規アカウントを作成および設定する

ステップ 1 Eudora を起動します。

ステップ 2 Eudora の [Tools] メニューで、[Personalities] をクリックします。

ステップ 3 [Personalities] タブの任意の位置で右クリックし、[New] をクリックします。

ステップ 4 New Account ウィザードの [Account Settings] ページで、[Next] をクリックしてデフォルト値の [Create a Brand New E-Mail Account] をそのまま使用します。

ステップ 5 [Personality Name] ページで、アカウントの表示名を入力します。ここに入力する値は、Eudora だけで表示されます。

ステップ 6 [Next] をクリックします。

ステップ 7 [Personal Information] ページで、ユーザ名を入力します。

ステップ 8 [Next] をクリックします。

ステップ 9 [E-Mail Address] ページに、ユーザの Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

ステップ 10 [Next] をクリックします。

ステップ 11 [User Name] ページで、Connection ユーザ名を入力します。この値は、Connection エイリアスと同じ場合も、そうでない場合もあります。

ステップ 12 [Next] をクリックします。

ステップ 13 [Incoming E-Mail Server] ページで、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



注意 ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

ステップ 14 サーバのタイプについては、[IMAP] をクリックします。

ステップ 15 [Next] をクリックします。

ステップ 16 [IMAP Location Prefix] ページでは、値を入力しないでください。

ステップ 17 [Next] をクリックします。

ステップ 18 [Outgoing E-Mail Server] ページで、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

Connection サーバは、実際には、送信用メール サーバとして機能しませんが、次のページに進むには値を指定する必要があります。

ステップ 19 [Next] をクリックします。

ステップ 20 [Success] ページで、[Finish] をクリックします。アカウントが作成され、ウィザードが終了します。

ステップ 21 [Enter Password] ダイアログボックスに、ユーザの Cisco PCA パスワードを入力します。

ステップ 22 [OK] をクリックします。

ステップ 23 オプションで、新規アカウントが SSL を使用するように設定します。詳細については、Eudora のヘルプを参照してください。



注意 SSL を使用するように Eudora を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

IBM Lotus Notes でのアカウントの作成および設定

IBM Lotus Notes を使用して Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスできるのは、Connection サーバに Connection 1.2(1) ES 2 がインストールされている場合にに限られます。ES 2 は、<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unityconnection> から入手可能です。

Notes を使用して Connection のボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Notes アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス。
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection Administration のユーザ ページで設定される Web アプリケーション パスワードです)。
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名。

IBM Lotus Notes で新規アカウントを作成および設定する

-
- ステップ 1** IBM Lotus Notes を起動します。
- ステップ 2** Notes の [File] メニューで、[Preferences] > [Client Reconfiguration Wizard] をクリックします。
- ステップ 3** Lotus Notes Client Configuration ウィザードの [Additional Services] ページで、[Internet Mail Servers (POP or IMAP, SMTP)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** [Next] をクリックします。
- ステップ 5** [Set Up Internet Mail] ページの [Select the Type of Server Used for Retrieving Incoming Mail] リストで、[IMAP] をクリックします。
- ステップ 6** [Enter a New Account Name] リストで、[Incoming Internet Mail] をクリックします。
- ステップ 7** [Incoming Mail Server] フィールドに、Cisco Unity Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



注意 ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

- ステップ 8** [Next] をクリックします。
- ステップ 9** [Set Up Internet Mail] ページの [Account Name] フィールドに、ユーザの Connection エイリアスと Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。次の形式で入力します。
- <エイリアス>@<Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名>
- ステップ 10** [Password] フィールドに、ユーザの Cisco PCA パスワードを入力し、確認のためもう一度入力します。
- ステップ 11** Notes と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[Log On Using SSL] チェックボックスをオンにします。これらのデータを暗号化しない場合は、[ステップ 12](#) に進みます。

**注意**

SSL を使用するように Notes を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザー名とパスワード、および Connection から送信されるボイスメッセージは暗号化されません。

ステップ 12 [Next] をクリックします。

ステップ 13 2 番目の [Set Up Internet Mail] ページの [Enter a New Account Name] リストで、[**Outgoing Internet Mail**] をクリックします。

Connection サーバは、実際には、送信用メールサーバとして機能しませんが、次のページに進むには値を指定する必要があります。

ステップ 14 [Outgoing SMTP Mail Server] リストに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

ステップ 15 [Next] をクリックします。

3 番目の [Set Up Internet Mail] ページの [E-Mail Address] フィールドに、ユーザーの Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

ステップ 16 [Internet Domain] フィールドに、Domino メールサーバのインターネットドメイン名を入力します。

ステップ 17 [Next] をクリックします。

ステップ 18 [OK] をクリックします。

Microsoft Outlook でのアカウントの作成および設定

Outlook を使用して Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Outlook アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス。
- Connection ユーザ名。
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection Administration のユーザ ページで設定される Web アプリケーション パスワードです)。
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名。

Outlook で新規アカウントを作成および設定する

ステップ 1 Outlook を起動します。

ステップ 2 Outlook の [Tools] メニューで、[E-Mail Accounts] をクリックします。

ステップ 3 E-Mail Accounts ウィザードで、[Add a New E-Mail Account] をクリックします。

ステップ 4 [Next] をクリックします。

ステップ 5 [Server Type] ページで、[IMAP] をクリックします。

ステップ 6 [Next] をクリックします。

ステップ 7 [User Information] セクションで、次の値を入力します。

- a. [Your Name] フィールドに、アカウントの表示名を入力します。ここに入力する値は、Outlook だけで表示されます。
- b. [E-Mail Address] フィールドに、ユーザの Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。
<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

ステップ 8 [Server Information] セクションで、次の値を入力します。

- a. [Incoming Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



注意

ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

- b. [Outgoing Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

Connection サーバは、実際には、送信用メール サーバとして機能しませんが、次のページに進むには値を指定する必要があります。

ステップ 9 [Logon Information] セクションで、次の値を入力します。

- a. [User Name] フィールドに、Connection ユーザ名を入力します。
- b. [Password] フィールドに、ユーザの Cisco PCA パスワードを入力します。
- c. [Remember Password] チェックボックスがオフになっていることを確認します。このオプションがオンの場合、ユーザの Connection パスワードが期限切れになっている、変更されている、またはロックされているときは、Microsoft Outlook はユーザに Connection パスワードの入力を要求しません。その結果、ユーザは Connection からボイス メッセージを受信できません。

ステップ 10 Outlook と Connection の間でネットワークを介して送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化しない場合は、[ステップ 15](#) に進みます。



注意

SSL を使用するように Outlook を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

Outlook と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[ステップ 11](#) に進みます。

ステップ 11 [More Settings] をクリックします。

ステップ 12 [Internet E-Mail Settings] ダイアログボックスで、[Advanced] タブをクリックします。

ステップ 13 [Incoming Server (IMAP)] で、[This Server Requires an Encrypted Connection (SSL)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 14 [OK] をクリックして、[Internet E-Mail Settings] ダイアログボックスを閉じます。

ステップ 15 [Next] をクリックします。

ステップ 16 [Finish] をクリックします。

ステップ 17 Outlook の左ペインで、新規アカウントの [Inbox] フォルダをクリックします。

ステップ 18 Outlook の [Tools] メニューで、[Send/Receive] > [This Folder] をクリックします。

ステップ 19 指示に従って、Connection ユーザ名と Cisco PCA パスワードを入力します。

Microsoft Outlook Express でのアカウントの作成および設定

Outlook Express を使用して Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Outlook Express アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス。
- Connection ユーザ名。
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection Administration のユーザ ページで設定される Web アプリケーション パスワードです)。
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名。

Outlook Express で新規アカウントを作成および設定する

-
- ステップ 1** Outlook Express を起動します。
- ステップ 2** Outlook Express の [Tools] メニューで、[Accounts] をクリックします。
- ステップ 3** [Internet Accounts] ダイアログボックスで、[Mail] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Add] > [Mail] をクリックします。Internet Connection ウィザードが表示されます。
- ステップ 5** [Your Name] ページの [Display Name] フィールドに、ユーザ名を入力します。
- ステップ 6** [Next] をクリックします。
- ステップ 7** [Internet E-Mail Address] ページで、[I Already Have an E-Mail Address That I'd Like to Use] をクリックします。
- ステップ 8** [E-Mail Address] フィールドに、Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。
- <エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>
- ステップ 9** [Next] をクリックします。
- ステップ 10** [E-Mail Server Names] ページの [My Incoming Mail Server Is a <プロトコル> Server] リストで、[IMAP] をクリックします。
- ステップ 11** [Incoming Mail (POP3, IMAP, or HTTP) Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



注意 ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

- ステップ 12** [Outgoing Mail (SMTP) Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

Connection サーバは、実際には、送信用メール サーバとして機能しませんが、次のページに進むには値を指定する必要があります。

ステップ 13 [Next] をクリックします。

ステップ 14 [Internet Mail Logon] ページの [Account Name] フィールドと [Password] フィールドに、Connection ユーザ名と Cisco PCA パスワードを入力します。ユーザ名は、エイリアスと同じ場合も、そうでない場合もあります。

ステップ 15 [Remember Password] チェックボックスがオフになっていることを確認します。

このオプションがオンの場合、ユーザの Connection パスワードが期限切れになっている、変更されている、またはロックされているときは、Microsoft Outlook Express はユーザに Connection パスワードの入力を要求しません。その結果、ユーザは Connection からボイス メッセージを受信できません。

ステップ 16 [Next] をクリックします。

ステップ 17 [Congratulations] ページで、[Finish] をクリックします。

ステップ 18 [Internet Accounts] ダイアログボックスで、[ステップ 4](#) で作成したアカウントをクリックし、[Properties] をクリックします。

ステップ 19 [< アカウント名 > Properties] ダイアログボックスで、[IMAP] タブをクリックします。

ステップ 20 [Store Special Folders] チェックボックスをオフにします。

ステップ 21 [Root Folder Path] フィールドに、INBOX と入力します（すべて大文字で）。

ステップ 22 Outlook Express と Connection の間でネットワークを介して送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化しない場合は、[ステップ 25](#) に進みます。



注意 SSL を使用するように Outlook Express を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

Outlook Express と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[ステップ 23](#) に進みます。

ステップ 23 [Advanced] タブをクリックします。

ステップ 24 [Incoming Mail] で、[This Server Requires a Secure Connection (SSL)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 25 [OK] をクリックして、[< アカウント名 > Properties] ダイアログボックスを閉じます。

ステップ 26 [Close] をクリックして、[Internet Accounts] ダイアログボックスを閉じます。

Netscape でのアカウントの作成および設定

Netscape を使用して Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Netscape アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス。
- Connection ユーザ名。
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名。

Netscape で新規アカウントを作成および設定する

ステップ 1 Netscape を起動します。

ステップ 2 Netscape の [Edit] メニューで、[Mail & Newsgroups Account Settings] をクリックします。

ステップ 3 [Mail & Newsgroups Account Settings] ダイアログボックスで、[Add Account] をクリックします。

ステップ 4 Account ウィザードで、[Email Account] をクリックします。

ステップ 5 [Next] をクリックします。

ステップ 6 [Identity] ページの [Your Name] フィールドに、ユーザ名を入力します。

ステップ 7 [Email Address] フィールドに、Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

ステップ 8 [Next] をクリックします。

ステップ 9 [Server Information] ページで、[Select the Type of Incoming Server You Are Using] の下にある [IMAP] をクリックします。

ステップ 10 [Incoming Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



注意

ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

ステップ 11 [Outgoing Mail (SMTP) Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

Connection サーバは、実際には、送信用メール サーバとして機能しませんが、次のページに進むには値を指定する必要があります。

ステップ 12 [Next] をクリックします。

ステップ 13 [User Name] ページで、Connection ユーザ名を入力します。

ステップ 14 [Next] をクリックします。

ステップ 15 [Account Name] ページで、アカウントの名前を入力します。この名前は Netscape だけで表示されません。

ステップ 16 [Next] をクリックします。

ステップ 17 [Congratulations] ページで、設定が正しいことを確認して、[Finish] をクリックします。

ステップ 18 Netscape と Connection の間でネットワークを介して送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化しない場合は、[ステップ 21](#) に進みます。

**注意**

SSL を使用するように Netscape を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザー名とパスワード、および Connection から送信されるボイスメッセージは暗号化されません。

Netscape と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[ステップ 19](#) に進みます。

ステップ 19 [Mail & Newsgroups Account Settings] ダイアログボックスの左ペインで、作成したアカウント名の下にある [Server Settings] をクリックします。

ステップ 20 [Use Secure Connection (SSL)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 21 [OK] をクリックして、[Mail and Newsgroups Account Settings] ダイアログボックスを閉じます。

Novell GroupWise でのアカウントの作成および設定

GroupWise を使用して Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい GroupWise アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス。
- Connection ユーザ名。
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection Administration のユーザ ページで設定される Web アプリケーション パスワードです)。
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名。

GroupWise で新規アカウントを作成および設定する

-
- ステップ 1** GroupWise を起動します。
- ステップ 2** GroupWise の [Tools] メニューで、[Accounts] > [Account Options] をクリックします。
- ステップ 3** [Accounts] ダイアログボックスで、[Add] をクリックします。
- ステップ 4** [Create Account] ダイアログボックスの [Account Name] フィールドに、アカウントの名前を入力します。この名前は GroupWise だけで表示されます。
- ステップ 5** [Account Type] リストで、[IMAP4] をクリックします。
- ステップ 6** [Next] をクリックします。
- ステップ 7** [Create Internet Account] ダイアログボックスの [Incoming Mail Server (IMAP4)] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



注意 ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

- ステップ 8** [Login Name] フィールドに、Connection ユーザ名を入力します。
- ステップ 9** [Outgoing Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

Connection サーバは、実際には、送信用メールサーバとして機能しませんが、次のページに進むには値を指定する必要があります。

- ステップ 10** [E-Mail Address] フィールドに、Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

ステップ 11 [From Name] フィールドに、ユーザ名を入力します。

この値は、GroupWise によって、ユーザが送信するメッセージの [差出人] フィールドに入力されます。ただし、Connection では GroupWise からのボイス メッセージの送信がサポートされていないため、この値が使用されることはありません。

ステップ 12 [Next] をクリックします。

ステップ 13 画面の指示に従って、設定を完了します。

ステップ 14 GroupWise と Connection の間でネットワークを介して送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化しない場合は、[ステップ 20](#)に進みます。



注意

SSL を使用するように GroupWise を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

GroupWise と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[ステップ 15](#)に進みます。

ステップ 15 [Accounts] ダイアログボックスで、作成したアカウントの名前をクリックします。

ステップ 16 [Properties] をクリックします。

ステップ 17 [Advanced] タブをクリックします。

ステップ 18 [Incoming Mail Server (IMAP4)] で、[Use SSL] チェックボックスをオンにします。

ステップ 19 [OK] をクリックして、[<アカウント名> Properties] ダイアログボックスを閉じます。

ステップ 20 [Close] をクリックして、[Accounts] ダイアログボックスを閉じます。

ステップ 21 新規アカウントの inbox を作成し、Connection のボイス メッセージをダウンロードします。

- a. GroupWise の左ペインで、新規アカウントの名前をクリックします。
- b. [Logon to <アカウント名>] ダイアログボックスに、ユーザの PCA パスワードを入力します。
- c. [Remember Password] チェックボックスがオフになっていることを確認します。

このオプションがオンの場合、ユーザの Connection パスワードが期限切れになっている、変更されている、またはロックされているときは、GroupWise はユーザに Connection パスワードの入力を要求しません。その結果、ユーザは Connection からボイス メッセージを受信できません。
- d. [OK] をクリックして、[Logon to <アカウント名>] ダイアログボックスを閉じます。
- e. 左ペインで新規アカウントの名前がまだ選択されている状態で、GroupWise の [Tools] メニューから [Send/Receive] > [This Folder] をクリックします。

Opera でのアカウントの作成および設定

Opera を使用して Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Opera アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス。
- Connection ユーザ名。
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection Administration のユーザ ページで設定される Web アプリケーション パスワードです)。
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名。

Opera で新規アカウントを作成および設定する

-
- ステップ 1** Opera を起動します。
- ステップ 2** Opera の [Tools] メニューで、[Mail and Chat Accounts] をクリックします。
- ステップ 3** [Manage Accounts] ダイアログボックスで、[New] をクリックします。
- ステップ 4** New Account ウィザードで、[IMAP] をクリックします。
- ステップ 5** [Next] をクリックします。
- ステップ 6** [Real Name] フィールドに、アカウント名を入力します。
- ステップ 7** [E-Mail Address] フィールドに、Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。
- <エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>
- ステップ 8** [Organization] フィールドに、適切な値を入力します。
- ステップ 9** [Next] をクリックします。
- ステップ 10** [Login Name] フィールドに、Connection ユーザ名を入力します。
- ステップ 11** [Password] フィールドに、Cisco PCA パスワードを入力します。
- ステップ 12** [Next] をクリックします。
- ステップ 13** [Incoming Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

**注意**

ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

■ Opera でのアカウントの作成および設定

ステップ 14 Opera と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[Use Secure Connection (TLS)] チェックボックスをオンにします (TLS は SSL の更新バージョンです)。

**注意**

SSL を使用するように Opera を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

ステップ 15 [Outgoing Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

Connection サーバは、実際には、送信用メール サーバとして機能しませんが、次のページに進むには値を指定する必要があります。

ステップ 16 [Finish] をクリックします。

ステップ 17 [OK] をクリックして、[Subscribe IMAP Folders] ダイアログボックスを閉じます。

ステップ 18 [OK] をクリックして、[Manage Accounts] ダイアログボックスを閉じます。

Thunderbird でのアカウントの作成および設定

Thunderbird を使用して Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Thunderbird アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス。
- Connection ユーザ名。
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名。

Thunderbird で新規アカウントを作成および設定する

ステップ 1 Thunderbird を起動します。

ステップ 2 Thunderbird の [File] メニューで、[New] > [Account] をクリックします。

ステップ 3 Account ウィザードの [New Account Setup] ページで、[E-Mail Account] をクリックします。

ステップ 4 [Next] をクリックします。

ステップ 5 [Identity] ページの [Your Name] フィールドに、ユーザ名を入力します。

ステップ 6 [E-Mail Address] フィールドに、Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

ステップ 7 [Next] をクリックします。

ステップ 8 [Server Information] ページで、[Select the Type of Incoming Server You Are Using] の下にある [IMAP] をクリックします。

ステップ 9 [Incoming Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



注意

ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

ステップ 10 [Next] をクリックします。

ステップ 11 [User Names] ページで、Connection ユーザ名を入力します。

ステップ 12 [Next] をクリックします。

ステップ 13 [Account Name] ページで、アカウントの名前を入力します。この名前は Thunderbird だけで表示されます。

ステップ 14 [Next] をクリックします。

ステップ 15 [Congratulations] ページで、設定が正しいことを確認して、[Finish] をクリックします。

ステップ 16 Thunderbird と Connection の間でネットワークを介して送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化しない場合は、これで新規アカウントの作成と設定は終了です。

Thunderbird と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[ステップ 17](#)に進みます。

ステップ 17 Thunderbird の左ペインで、作成したアカウントの名前をクリックします。

ステップ 18 Thunderbird の右ペインで、[Accounts] の下にある [View Settings for This Account] をクリックします。

ステップ 19 [Account Settings] ダイアログボックスで、作成したアカウントの下にある [Server Settings] をクリックします。

ステップ 20 [Server Settings] の下にある [Use Secure Connection (SSL)] チェックボックスをオンにします。

**注意**

SSL を使用するように Thunderbird を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

ステップ 21 [OK] をクリックして、[Account Settings] ダイアログボックスを閉じます。

IMAP クライアントのログオンに関する問題のトラブルシューティング

ユーザは、Cisco Unity Assistant で Cisco Unity Connection パスワードを変更した場合は、このパスワードを IMAP クライアント アプリケーションでも更新する必要があります。これで、引き続きクライアントが Connection にアクセスし、ボイス メッセージを取得することができます。

ユーザが IMAP クライアントでボイス メッセージを受信できない場合は、次の情報を参考にしてください。

- ユーザが IMAP クライアント アプリケーションから Cisco PCA パスワードの入力を求められ、入力したパスワードが受け入れられない場合は、Cisco PCA パスワードが期限切れになっている、変更されている、またはロックされている可能性があります。ユーザは、まず、Cisco Unity Assistant でパスワードを変更し、次に、IMAP クライアント アプリケーションでパスワードを更新します。
- Microsoft Outlook ユーザが Cisco PCA パスワードの入力を求められない場合は、[Internet E-mail Settings (IMAP)] ページの [Remember Password] チェックボックスがオフになっていることを確認します。このオプションがオンの場合、ユーザの Cisco PCA パスワードが期限切れになっている、変更されている、またはロックされているときは、Microsoft Outlook はユーザに Cisco PCA パスワードの入力を要求しません。その結果、ユーザは Connection からボイス メッセージを受信できず、Outlook によってユーザ名とパスワードの入力が求められます。



ユーザの電話の設定

この章では、ユーザが電話で Cisco Unity Connection にアクセスする前に管理者が実行できるタスクを示します。

ユーザの電話を設定するためのタスク リスト

1. 転送先が話し中または応答しない場合の Cisco Unity Connection の処理を設定する。ユーザの電話ごとに、Connection への着信転送を使用可能にする。これにより、ユーザの内線に電話しても話し中の場合や応答のない場合は、処理を担当する Connection に転送されます。次に、Connection が Cisco Unity Connection Administration でユーザごとに指定された着信転送設定を使用して、たとえば、発信者を保留にするか、またはユーザ グリーティングに直接送信するか、などの処理を決定します。
2. ユーザの電話ごとにメッセージ ボタンを指定する。ユーザの電話ごとに、ユーザが電話のメッセージ ボタンまたは同様の短縮ダイヤル ボタンを使用して、組織の Connection 内線電話番号をダイヤルできるようにします。これにより、ユーザは自席の電話で Connection の番号をダイヤルする必要がなくなるため、素早く簡単に電話で Connection を呼び出してメッセージを確認したり、個人設定を変更したりできます。
3. プロンプトの電話言語と TTS 言語を指定する。電話言語は、Connection がユーザおよび発信者に対してシステム プロンプトを再生するための言語です。TTS 言語は、Connection が電話を介して電子メール メッセージを再生するための言語です。
4. TTY プロンプトをインストールする。TTY プロンプト セット (アメリカ英語 (ENX) だけで使用可能) をインストールして、サポートされている他の電話言語と同様に使用できます。TTY プロンプト セットをインストールすると、TTY を使用するユーザと外部の発信者が Connection を呼び出し、発信者が聞き取り時に使用できる機能と同じものを使用できるようになります。ただし、次の例外に注意してください。
 - TTY トーンを使用して Connection ガイダンスを操作することはできません。
 - 一部の TTY 電話には、DTMF トーンを送信する機能がありません。この場合、TTY ユーザは、システム ナビゲーション用に電話のキーパッドを使用することが必要になる場合があります。
5. ガイダンスのデフォルトを変更し、ガイダンス固有の機能を使用可能にする。Connection ガイダンスのデフォルト設定の一部を変更することで、ユーザが以前のボイス メッセージ システムからより簡単に移行できることを保証できます (たとえば、より慣れているキーパッド マッピングを使用するメニューを再生するように、ガイダンスのデフォルト バージョンを変更できます)。
6. Cisco Unity パーソナル着信転送ルール Web ツール、ボイス コマンドを使用する (電話のタッチトーン キーを使用しない) ユーザ向けのスピーチ アクセス、「簡易」サインイン、システム転送、テキスト / スピーチ、および Live Reply などの機能を使用可能にする。

■ ユーザの電話を設定するためのタスク リスト



ユーザのオリエンテーション

この章にある次の項を参照してください。

- [オリエンテーションのタスク リスト \(P.5-1\)](#)
- [ユーザが変更できる設定 \(P.5-4\)](#)

オリエンテーションのタスク リスト

ユーザ アカウントを作成し、ユーザが電話およびコンピュータから Cisco Unity Connection へのアクセスに使用するクライアント アプリケーションを設定したら、次のタスク リストを使用して、ユーザに Connection に慣れてもらいます。補足の Connection トレーニングを計画している場合は、[P.6-3 の「サポート デスクのオリエンテーション」](#)で示す、考えられるユーザの疑問と誤解についても確認します。

1. 各ユーザに『Cisco CiscoUnity Connection ユーザ ガイド』、『Cisco Unity Connection at a Glance』カード、および『Cisco Unity Connection 電話メニューとショットカット』カードを配布するか、これらのドキュメントへの URL を通知する。『Cisco Unity Connection at a Glance』カードと『Cisco Unity Connection 電話メニューとショットカット』カードには、Standard Conversation バージョンと Optional Conversation 1 バージョンのものがありません (その他のガイダンス スタイルに対応したカードは利用できません)。ユーザ ドキュメントはすべて、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_user_guide_list.html から入手可能です。
2. 組織のユーザが慣れているガイダンスのバージョンに応じて、Connection と以前のボイス メッセージ システムの電話メニューの違いに関するリストを配布することを考慮する。特に、標準ガイダンスの代替方法を使用しない場合 (Voice Mail User テンプレートでのデフォルト設定) に役立ちます。
3. 組織の内外から Connection にアクセスするときにダイヤルする電話番号をユーザに通知する。必要に応じて、ユーザが Connection にアクセスするときに使用する自席の電話のボタンまたはキーを通知します。

また、Connection 管理者の名前と内線番号、およびサポート デスク担当者の情報も通知します。『Cisco CiscoUnity Connection ユーザ ガイド』、『Cisco Unity Connection at a Glance』カード、および『Cisco Unity Connection 電話メニューとショットカット』カードには、電話番号と担当者の情報を書き留めておくためのスペースがあります。

4. ユーザに初期電話パスワードを通知する。または、Cisco Personal Communications Assistant (PCA) Web サイトにログオンし、電話パスワードを設定してから、Connection を呼び出して初回登録を完了するようユーザに指示します (ユーザが Cisco PCA でパスワードを変更する場合、既存の電話パスワードを入力する必要はありません)。

ユーザが Cisco PCA で最初にパスワードを変更しない場合は、初回登録時に電話パスワードの変更が要求されます。

■ オリエンテーションのタスク リスト

5. 初回登録を完了しなければならないことをユーザが知っているか確認する。登録時に Connection のドキュメントを参照する必要はありません。登録プロセスが完了するとメッセージが表示されます。登録が完了する前に電話を切った場合は、変更は何も保存されず、次回 Connection にログオンしたときに再度初回登録ガイダンスが再生されます。

登録時に要求されるタスクの詳細については、『Cisco CiscoUnity Connection ユーザガイド』の「はじめに」の章を参照してください。

6. ユーザに Cisco PCA Web サイトへの URL (`http://<Cisco Unity Connection サーバ名>/ciscopca`) を通知する。『Cisco CiscoUnity Connection ユーザガイド』、『Cisco Unity Connection at a Glance』カード、および『Cisco Unity Connection 電話メニューとショットカット』カードには、この URL を書き留めておくためのスペースがあります。

ユーザは Cisco PCA を使用して、Cisco Unity Assistant、Cisco Unity Inbox、および CiscoCisco Unity パーソナル着信転送ルールのうち適切な方へアクセスできます。

7. 電話パスワードと Cisco PCA パスワードを保護して Connection メールボックスを不正アクセスから適切に保護する方法をユーザに説明する。組織のセキュリティ ガイドラインについて詳しく説明します。

Cisco PCA パスワードは Connection 電話パスワードとは無関係であること、およびパスワードは同期されていないことをユーザが理解しているか確認します。ユーザは Cisco Unity Assistant を使用して Cisco PCA パスワードを変更する必要があります。

8. システム設定に応じて、Connection がさまざまなタイプのメッセージをどのように処理するかをユーザに説明する。

- ボイスメールにアクセスできるユーザは、新しいメッセージ、開封済みメッセージ、および削除されたメッセージの再生順序をカスタマイズできます。
- TTS を介して電子メール メッセージにアクセスするユーザや、ボイスメール メッセージと電子メール メッセージを別々に管理するユーザは、メッセージ タイプ メニューを使用可能にして、どのメッセージを再生するかをキー入力で選択することができます（「ボイスメッセージは 1、電子メールは 2 を押してください ...」）。または、ユーザは Cisco Unity Assistant を使用して、電話でメッセージを確認するときに Connection が電子メール メッセージを最後に再生するように指定することもできます。
- ボイス メッセージにアクセスする IMAP クライアント アプリケーションを設定したユーザは、ボイス メッセージをその他のメッセージとは別に保管するためのフォルダを、電子メール クライアント内に作成できます。

ユーザは、また、Media Master のオプション メニューにある [名前を付けて保存] オプションを使用して、ボイス メッセージを WAV ファイルとしてハード ドライブ上に保存することができます。ただし、プライベート メッセージは、ユーザのハード ドライブ上に保存できません。また、メッセージの機密性に関係なく、ユーザがすべてのメッセージをハード ドライブ上に保存することを禁止できます。これを行うには、Cisco Unity Connection Administration の [System Settings] > [Advanced] > [PCA] ページで、[Unity Inbox: Disable Save Recording As Option in Media Master] チェックボックスをオンにします。ユーザが IMAP クライアントに送信されたすべてのメッセージを保存することを禁止するには、[Class of Service] ページで、ユーザが IMAP クライアントを使用してメッセージにアクセスできるようにするときに、[Allow Users to Access Message Bodies] オプションまたは [Allow Users to Access Message Bodies Except on Private Messages] オプションを選択します。

9. メールボックスが一杯になった場合の Connection の動作を説明する。発生する可能性がある問題については、P.6-3 の「サポート デスクのオリエンテーション」を参照してください。同様の情報について、ユーザには『Cisco CiscoUnity Connection ユーザガイド』を参照してもらいます。
10. 組織内に TTY と TTY プロンプト セットを使用するユーザがいる場合は、Connection に対する TTY の使用方法について研修を行う。
11. コール ハンドラまたはシステム同報リストを所有するユーザが自分の責任について理解しているか確認する（必要な場合）。

12. 必要に応じて、CiscoCisco Unity グリーティング管理 と System Broadcast Administrator の使用方法をユーザに説明する。
13. 電話や Cisco Unity Assistant を使用してユーザ設定を個人用にカスタマイズする方法について研修を行う。要約を表 5-1「ユーザが Cisco Unity Assistant や電話メニューを使用して変更できる設定」に示します。特に、ユーザは Web インターフェイスを使用してボイス メッセージ オプションを設定することに慣れていない場合があるため、Cisco Unity Assistant の体験学習によるデモンストレーションを行うと有効です。
14. CiscoCisco Unity パーソナル着信転送ルール Web ツールの使用方法や、着信転送、通話保留とスクリーニング、および発信者オプションの使用方法について研修を行う。要約を表 5-2「ユーザが CiscoCisco Unity パーソナル着信転送ルールや電話メニューを使用して変更できる設定」に示します。

ユーザは、オリエンテーション後に『Cisco CiscoUnity Connection ユーザ ガイド』または Cisco Unity Assistant のヘルプを参照することで、使用方法の詳細を知ることができます。

ユーザが変更できる設定

表 5-1 は、ユーザが Cisco Unity Assistant Web ツールや電話を使用して変更できる設定を示しています。

表 5-1 ユーザが Cisco Unity Assistant や電話メニューを使用して変更できる設定

Cisco Unity Assistant を使用して変更できる設定	電話メニューを使用して変更できる設定
通話保留とスクリーニング ¹ : <ul style="list-style-type: none"> ユーザの電話が通話中のときに Connection が間接通話を処理する方法を選択する。選択肢には、発信者を保留にすること、保留にするかメッセージを残すかを発信者に要求すること、および発信者をグリーティングに直接送信することがあります。 Connection が間接通話を処理する方法を選択する。選択肢には、誰にかかってきたかをユーザに通知すること、Connection が転送中であることをアナウンスすること、電話に出るかどうかをユーザに要求すること、および発信者に名前を告げるように要求することがあります。 	通話保留とスクリーニング ¹ : <ul style="list-style-type: none"> なし。
着信転送 ² : <ul style="list-style-type: none"> 間接通話を内線に転送するか、またはグリーティングに送信する。 内線番号を変更する。 	着信転送 ² : <ul style="list-style-type: none"> 間接通話を内線に転送するか、またはグリーティングに送信する。 内線番号を変更する。
発信者オプション : <ul style="list-style-type: none"> 発信者によるメッセージ編集を許可する。 発信者にメッセージの緊急指定を許可する。 	発信者オプション : <ul style="list-style-type: none"> なし。
ガイダンス オプション : <ul style="list-style-type: none"> ガイダンスのインプットスタイルを指定する。 Connection プロンプトのスピードと言語を設定する。 Connection の標準ガイダンス メニューまたは簡易ガイダンス メニューを選択する。 ユーザが Connection を呼び出したときに Connection が実行する操作を選択する。選択肢には、ユーザに名前でもグリーティングすること、および新しいメッセージの数をタイプごとに通知することがあります。 代行内線番号を指定する。 	ガイダンス オプション : <ul style="list-style-type: none"> Connection の標準ガイダンス メニューまたは簡易ガイダンス メニューを選択する。
グリーティング : <ul style="list-style-type: none"> パーソナル グリーティングを録音する。 グリーティングを使用可能または使用不能にする。 使用可能にしたグリーティングの有効期限を指定する。 システム プロンプトとパーソナル グリーティングを切り替える。 	グリーティング : <ul style="list-style-type: none"> パーソナル グリーティングを録音する。 グリーティングを使用可能または使用不能にする。 使用可能にしたグリーティングの有効期限を指定する。

表 5-1 ユーザが Cisco Unity Assistant や電話メニューを使用して変更できる設定 (続き)

Cisco Unity Assistant を使用して変更できる設定	電話メニューを使用して変更できる設定
<p>メッセージの到着通知：</p> <ul style="list-style-type: none"> 通知デバイスを使用可能または使用不能にし、通知デバイスの番号を変更する。 ダイヤルオプションを指定する。 Connection がデバイス呼び出す機会となるメッセージ タイプとメッセージの緊急度を選択する。 通知スケジュールを設定し、デバイスが応答しない場合、話し中の場合、または障害の場合の処理を指定する。 	<p>メッセージの到着通知：</p> <ul style="list-style-type: none"> 通知デバイスを使用可能または使用不能にし、通知デバイスの番号を変更する。
<p>メッセージの聞き取り：</p> <ul style="list-style-type: none"> メッセージの再生順序を指定する。 メッセージのタイム スタンプに使用する時間形式を変更する。 メッセージが再生されるときに Connection が実行する操作を選択する。選択肢には、メッセージを残した送信者の名前と数をアナウンスすること、メッセージの前または後にタイムスタンプを表示するかどうかをアナウンスすること、およびメッセージを再生する音量レベルをアナウンスすることがあります。 Connection がメッセージ タイプ メニューを再生するかどうかを指定する。 	<p>メッセージの聞き取り：</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生中のメッセージのスピードと音量。
<p>メッセージの宛先指定：</p> <ul style="list-style-type: none"> 別のユーザへのメッセージの宛先指定を名前にするか内線番号にするかを切り替える。 メッセージの宛先を指定する名前の順序 (苗字の後に名前、またはその逆) を指定する。 	<p>メッセージの宛先指定：</p> <ul style="list-style-type: none"> 別のユーザへのメッセージの宛先指定を名前にするか内線番号にするかを切り替える (## を押す)。³
<p>個人設定：</p> <ul style="list-style-type: none"> 名前を記録する。 代行ユーザ名を指定する。 ディレクトリー一覧の状態を変更する。 パスワードを変更する。 	<p>個人設定：</p> <ul style="list-style-type: none"> 名前を記録する。 ディレクトリー一覧の状態を変更する。 パスワードを変更する。
<p>プライベート同報リスト：</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示名を入力する。 リスト名を記録する。 メンバを追加および削除する。 	<p>プライベート同報リスト：</p> <ul style="list-style-type: none"> リスト名を記録する。 メンバを追加および削除する。

1. これらの設定は、ユーザが CiscoCisco Unity パーソナル着信転送ルールを使用可能にしていなかった場合に適用されます。通話保留オプションとスクリーニング オプションは、自動受付またはディレクトリ ハンドラからユーザに転送された着信通話にのみ適用され、直接通話には適用されません。これらのオプションは、外部の発信者または他のユーザが内線番号を直接ダイヤルした場合には適用されません。また、これらのオプションは、管理された転送が使用可能になっている場合のみ使用できます。

2. これらの設定は、ユーザが CiscoCisco Unity パーソナル着信転送ルールを使用可能にしていなかった場合に適用されます。着信転送オプションは、自動受付またはディレクトリ ハンドラからユーザに転送された着信通話にのみ適用され、直接通話には適用されません。転送オプションは、外部の発信者または他のユーザがユーザの内線番号を直接ダイヤルした場合には適用されません。

3. 入力した名前による宛先指定を使用可能にしたかどうかによって異なります。

■ ユーザが変更できる設定

表 5-2 は、ユーザが CiscoCisco Unity パーソナル着信転送ルール Web ツールや電話を使用して変更できる設定を示しています。

表 5-2 ユーザが CiscoCisco Unity パーソナル着信転送ルールや電話メニューを使用して変更できる設定

CiscoCisco Unity パーソナル着信転送ルールを使用して変更できる設定	電話メニューを使用して変更できる設定
<p>通話保留とスクリーニング：</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザの電話が通話中のときに Connection が直接通話と間接通話を処理する方法を指定するように、パーソナル着信転送ルールを設定する。指定できる処理には、発信者を保留にすること、保留にするかメッセージを残すかを発信者に要求すること、および発信者をグリーティングに直接送信することがあります。 Connection が直接通話と間接通話を処理する方法を指定するように、パーソナル着信転送ルールを設定する。指定できる処理には、誰にかかってきたかをユーザに通知すること、Connection が転送中であることをアナウンスすること、電話に出るかどうかをユーザに要求すること、および発信者に名前を告げるように要求することがあります。 	<p>通話保留とスクリーニング：</p> <ul style="list-style-type: none"> なし。
<p>着信転送：</p> <ul style="list-style-type: none"> 直接通話と間接通話を内線番号、外線番号、またはグリーティングに転送するように、パーソナル着信転送ルールを設定する。 	<p>着信転送：</p> <ul style="list-style-type: none"> パーソナル着信転送ルールで、直接通話と間接通話を内線番号、外線番号、またはグリーティングに転送することを使用可能または使用不能にする。 すべてのルール設定の転送で、すべての通話をボイスメールまたは別の電話番号に転送することを使用可能または使用不能にする。 すべての着信を内線番号ではなく、Connection に直接転送する。
<p>発信者オプション：</p> <ul style="list-style-type: none"> 発信者によるメッセージ編集を許可する。 発信者にメッセージの緊急指定を許可する。 	<p>発信者オプション：</p> <ul style="list-style-type: none"> なし。
<p>通知先：</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送時に使用する電話番号または通知デバイスを設定する。 パーソナル着信転送ルールで使用する通知先グループを設定する。 次の宛先またはボイスメールに転送するまで Connection が待機する呼び出し数を指定する。 	<p>通知先：</p> <ul style="list-style-type: none"> なし。
<p>個人連絡先：</p> <ul style="list-style-type: none"> 名前のダイヤリング規則と着信転送ルールの両方に使用する個人連絡先のアドレス帳を設定する。 	<p>個人連絡先：</p> <ul style="list-style-type: none"> なし。
<p>発信者グループ：</p> <ul style="list-style-type: none"> パーソナル着信転送ルールで使用する、個人連絡先、システム連絡先、または Connection ユーザのグループを作成する。 	<p>発信者グループ：</p> <ul style="list-style-type: none"> なし。



オペレータとサポート デスクのオリエンテーション

組織内のオペレータには、Cisco Unity Connection のインストール固有の情報が必要です。また、組織内にサポート デスクが設置されている場合、そのスタッフは、ユーザからの質問に回答する準備、および回答する上で有用なリソースの把握が必要になる場合があります。

この章にある次の項を参照してください。

- [オペレータのオリエンテーション \(P.6-2\)](#)
- [サポート デスクのオリエンテーション \(P.6-3\)](#)

オペレータのオリエンテーション

オペレータのオリエンテーションではユーザのオリエンテーションと同じ要点を取り上げますが、より詳しく説明する必要があります。オペレータは、ユーザが Cisco Unity Connection をどのように使用しているかを、よく理解する必要があります。組織の規模によっては、ユーザが Connection に関する疑問があるときに質問する可能性のある相手は、オペレータです。

「ユーザのオリエンテーション」の章と P.6-3 の「サポートデスクのオリエンテーション」で説明した情報の他に、オペレータは次の概念と作業を理解する必要もあります。

オペレータと自動受付の役割

組織の自動受付の使い方によって、オペレータの担当範囲が決まります。自動受付とは、人間のオペレータの代わりに使用されるコールハンドラで、グリーティングを再生してプッシュホンに対応することで電話の応対と転送を行います。自動受付はオプションメニュー（「営業は 1、サービスは 2 を押してください。」など）を設定することができ、さらに「当社の通常の営業時間は月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時です。」といった情報を伝えることができます。

通話の転送

組織が自動受付をどのように利用しているかにかかわらず、多くの通話はオペレータに接続されます。オペレータは、通話をボイスメールやユーザの電話に転送する方法を理解する必要があります。Cisco CallManager で、通話をボイスメールに転送するよう電話機をプログラミングできます。この設定方法については、

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_tech_notes_list.html から入手可能な技術情報「How to Transfer a Caller Directly into a Mailbox」を参照してください。

目的の受信者へのメッセージの転送

オペレータもコールハンドラまたはパブリック同報リストを所有している場合は、メッセージを頻繁に確認する必要があることや、メッセージを適切な受信者に転送する必要があることをオペレータが理解しているか確認します。

CiscoCisco Unity グリーティング管理の使用方法

組織のコールハンドラ グリーティングの変更を担当するオペレータは、Cisco Unity Connection Administration でグリーティングを変更できない場合は CiscoCisco Unity グリーティング管理を使用できます。たとえば、悪天候によりオフィスを一時的に閉める場合などに、オペレータは自宅から CiscoCisco Unity グリーティング管理を呼び出して使用し、オプション オープニング グリーティングを使用可能にするか、オフィスが閉まっていることを知らせるコールハンドラ グリーティングを再録音することができます。CiscoCisco Unity グリーティング管理の使用方法については、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html から入手可能な『Cisco Unity Connection System Administration Guide』を参照してください。

Cisco Unity Broadcast Message Administrator の使用方法

オペレータが録音済みの通知を組織内の全員（または組織内の特定のロケーション）に送信することを担当する場合は、ブロードキャストメッセージを送信するために Cisco Unity Broadcast Message Administrator にアクセスして使用方法を説明します。Cisco Unity Broadcast Message Administrator の使用方法については、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html から入手可能な『Cisco Unity Connection System Administration Guide』を参照してください。

サポート デスクのオリエンテーション

サポート デスクのオリエンテーションではユーザとオペレータのオリエンテーションと同じ要点を取り上げますが、より詳しく説明する必要があります。サポート デスクのスタッフは、ユーザとオペレータが Cisco Unity Connection をどのように使用しているか、および、ユーザが Connection を使用しているときに発生する一般的な問題についてよく理解する必要があります。Connection サーバを使用する代わりに、サポート デスクのスタッフが使用できるテスト サーバを設定すると、Cisco Unity Connection Administration の参照や、クライアント アプリケーションのトラブルシューティングおよびテストを実行できるので有用です。

組織のサポート デスクへの問い合わせに備えて、次の「サポート デスクのリソース」の項で示すリソースと、P.6-3 の「考えられるユーザの疑問と誤解」で示す、考えられるユーザの疑問および誤解をサポート デスクのスタッフによく理解してもらいます (P.6-2 の「オペレータのオリエンテーション」と「ユーザのオリエンテーション」の章も参照してください)。

サポート デスクのリソース

- ユーザドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_user_guide_list.html から入手可能です。特に、『Cisco Unity Connection at a Glance』は、サポート デスクのスタッフが Connection ガイダンスの流れを視覚的に十分理解する上で有用になる場合があります。
- 『互換性マトリクス : Cisco Unity Connection とユーザ ワークステーション上のソフトウェア』は、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_device_support_tables_list.html から入手可能です。
- 次の章には、ユーザワークステーションの設定方法や Connection クライアント アプリケーションの使用方法が記載されています。
 - Cisco Personal Communications Assistant へのアクセスの設定
 - Media Master の再生デバイスと録音デバイスの設定
 - Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするための電子メール アカウントの設定
 - ユーザの電話の設定
- Cisco.com 上の Connection に関するすべてのドキュメントの説明および URL については、『Cisco Unity Connection Documentation Guide』を参照してください。ドキュメントは、Connection と同時に出荷されます。また、次の URL でも入手できます。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_documentation_roadmaps_list.html

考えられるユーザの疑問と誤解

表 6-1 に、考えられるユーザの問題を示します。これらは一般的に、Cisco Unity Connection の動作に関する誤解から生じます。ユーザが、別のボイス メッセージ システムに慣れているか、Connection のトレーニングを終了していない、または新しい機能または既存のシステムからの機能変更を把握していない場合に、このような問題がよく発生します。

表 6-1 考えられるユーザの疑問と誤解

考えられる問題	説明
SSL を使用すると Cisco Personal Communications Assistant セキュリティ警告が発生する	<p>組織で SSL を使用するように Cisco Unity Connection を設定した場合、証明書をグループポリシーに追加してドメイン内の全ユーザの信頼されたルートストアに証明書を配布していないとき、またはユーザに対して、各自のコンピュータ上の信頼されたルートストアに証明書を追加する方法を通知していないときは、ユーザが、Cisco PCA にアクセスするたびに表示されるセキュリティ警告について疑問を抱く場合があります。警告を無視して Cisco PCA を使用してもよいこと、無視してもコンピュータやネットワークに対する悪影響は一切ないことをユーザに伝えます。</p> <p>ブラウザにセキュリティ警告が表示されないようにする方法については、P.1-6 の「SSL 使用時のセキュリティ警告の管理」を参照してください。</p>
遅延されたメッセージ	<p>ユーザは、次の理由でメッセージが遅延していると考え可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新規メッセージを聞いているときに、メッセージをスキップし、それを誤って新規とマークした。後で、再度メッセージを確認したときに、スキップしたメッセージが聞こえ、このメッセージが遅延して到達したと考えた。 • メッセージを聞いているときに、意図したよりも多くのメッセージをスキップし、後で再度メッセージを確認したときにスキップしたメッセージが聞こえ、これらのメッセージが遅延して到達したと考えた。 • メッセージを聞いているときに、他の新規メッセージが到着し、ユーザがそのメッセージに気づかなかった。後で、再度メッセージを確認したときに、その新規メッセージが聞こえ、そのメッセージが遅延したと考えた。
削除されたメッセージ	<p>デフォルトでは、ユーザが新規メッセージまたは開封済みメッセージを削除する場合、Cisco Unity Connection は削除の確認をしません。特に、削除されたメッセージの保持および表示ができるサービスクラスに属していないユーザが多い場合は、削除する前に Connection がユーザの確認を要求するように設定できます。Connection がメッセージの削除を確認するように設定するには、Cisco Unity Connection Administration の [System Settings] > [Advanced] > [Conversations] ページを使用します。</p> <p>削除されたメッセージについて、ユーザには http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_user_guide_list.html から入手可能な『Cisco CiscoUnity Connection ユーザガイド』の「Cisco Unity Inbox でのメッセージ削除」の章を参照してもらいます。</p>

表 6-1 考えられるユーザの疑問と誤解 (続き)


考えられる問題	説明
削除されたメッセージ : IMAP と MAPI の動作	<p>ユーザが Microsoft Exchange サーバ上に保管されているメッセージに Microsoft Outlook クライアントと Cisco Unity Connection の両方からアクセスする場合、メッセージを削除すると、予期しない動作や紛らわしい動作が発生することがあります。Microsoft Outlook クライアントが MAPI (Exchange に接続するための Microsoft インターフェイス) を使用するように設定されている場合、MAPI と IMAP (Connection が使用するプロトコル) はメッセージを削除済みとしてマークするときに別々のメカニズムを使用するため、動作に違いが生じます。</p> <p>ユーザが Outlook (MAPI を使用するように設定済み) または Outlook Web Access を使用して Microsoft Exchange サーバにアクセスし、さらに Connection を使用して同じメッセージストア上のメッセージを管理する場合は、必ずユーザにこの動作を警告してください。</p> <p>削除されたメッセージ : IMAP の動作</p> <p>ユーザが Microsoft Outlook からメッセージを削除すると、メッセージは受信トレイから [削除済みアイテム] フォルダに移動します。この時点で、Connection では、そのメッセージにアクセスできなくなり、メッセージが新しいメッセージ、開封済みメッセージ、または削除されたメッセージのいずれとしても表示されなくなります。</p> <p>削除されたメッセージ : MAPI の動作</p> <p>ユーザが Connection からメッセージを削除した場合、メッセージは Inbox に残りますが、ユーザによって削除されたことを示すフラグが付けられます。しかし、Microsoft Outlook では、MAPI を使用するように設定されていると、このフラグを削除とは認識しないため、このメッセージは引き続き受信トレイに新しいメッセージまたは開封済みメッセージとして表示されます。</p>
ディレクトリ一覧 : ユーザが予想どおりに表示されない	<p>ユーザに名前の録音がない場合、そのユーザは電話ディレクトリに表示されません。その結果、外部の発信者がユーザを名前で検索しても見つけることができません。デフォルトでは、Cisco Unity Connection は、初回登録時に名前を録音するようユーザに要求しますが、ユーザが録音しなくても、登録プロセスは完了できます。</p> <p>この問題に対処するには、次のオプションを考慮してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unity Connection Administration の [System Settings] > [Advanced] > [Conversations] ページを使用して、初回登録を完了するために名前の録音を必須とすることが変更する。 • Cisco Unity Connection Administration を使用して、ユーザが名前を録音できるようにする。 • サービス クラス権限を持つユーザが、Connection ガイダンスまたは Cisco Unity Assistant を使用して各自の名前を録音できるようにする。 <p> (注) この問題は内部のユーザには発生せず、外部の発信者だけに発生します。名前でメッセージの宛先を指定する Cisco Unity Connection ユーザは、他のユーザのボイス名が録音されていない場合でも、そのユーザを見つけることができます。</p>

表 6-1 考えられるユーザの疑問と誤解 (続き)

考えられる問題	説明
IMAP クライアント：クライアントの動作の違い	<p>さまざまなサードパーティ製 IMAP クライアントを使用して、デスクトップ マシンからボイス メッセージにアクセスするユーザは、次のような動作の違いに気づくことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Outlook クライアント： <ul style="list-style-type: none"> - 新規メッセージの場合、「未読にする」機能を使用すると、WAV 形式のメッセージ添付ファイルがダウンロードされたかどうかに関係なく、Cisco Unity Connection サーバ上でメッセージが新規としてマークされる。 - 電話を介して削除されたボイス メッセージは、Outlook クライアントで削除用にマークされ、ユーザが「送受信」コマンドを選択すると、取り消し線の付いたテキストに変わる。 • Novell GroupWise クライアント： <ul style="list-style-type: none"> - WAV 形式のメッセージ添付ファイルを含む新規メッセージが GroupWise クライアントにダウンロードされた場合、「Read Later」機能を使用しても、Connection サーバ上でメッセージが新規としてマークされない。 - 電話を介して削除されたボイス メッセージは、GroupWise で削除用にマークされない。ユーザは手動でこのクライアントからそのメッセージを削除する必要があります。 - GroupWise ユーザは、「Send/Retrieve」コマンドを使用して、Connection サーバでメッセージ ステータスを更新する必要がある。
メールボックスがすぐに一杯になる	<p>ユーザは、次の理由でメールボックスがすぐに一杯になると苦情を言う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特定の経過時間に達したメッセージが、Cisco Unity Connection によって自動的に削除されない。そのため、ユーザのメッセージは、ユーザが完全に削除するまで保存されます (メッセージを完全に削除する方法について、ユーザには http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_user_guide_list.html から入手可能な『Cisco CiscoUnity Connection ユーザガイド』の「Cisco Unity Inbox でのメッセージ削除」の章を参照してもらいます)。 • ユーザが、送信したメッセージの不達確認 (NDR) を受信する場合、特に元のメッセージに大きな添付ファイルが含まれていると、電子メール クライアントのメールボックスのサイズがすぐに大きくなる場合がある。TTS を介して電子メール メッセージにアクセスするユーザの場合、送信済みメッセージを保存するように電子メール クライアントが設定されている場合、元のメッセージと添付ファイルが [送信済みアイテム] フォルダに格納され、もう 1 つのコピーが NDR と共に受信トレイに送信されるため、メールボックスのサイズが増大します。 • ユーザが、何度も転送されているメッセージを受信しているため、メッセージ サイズが増大する可能性がある。元のメッセージと、転送時に追加される音声コメントが、メッセージ全体のサイズです。結果として、比較的少ないメッセージを格納しているユーザのメールボックスが、格納域制限を超過する場合があります。 • ユーザの休暇中、または長期不在中に、ユーザのメールボックスが一杯になる可能性がある。これを防ぐには、ユーザがオプション グリーティングを有効にしたときに、発信者がメッセージを残さないように Connection を指定します。

表 6-1 考えられるユーザの疑問と誤解 (続き)

考えられる問題	説明
複数のメッセージ タイプの管理	<p>Cisco Unity Connection に慣れていないユーザは、1 つの Inbox で複数のメッセージ タイプを管理する方法を理解しにくい場合があります。</p> <p>システム設定に応じて、次のように対処できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ボイスメールにアクセスできるユーザは、新しいメッセージ、開封済みメッセージ、および削除されたメッセージの再生順序をカスタマイズできます。 TTS を介して電子メール メッセージにアクセスするユーザや、ボイスメール メッセージと電子メール メッセージを別々に管理するユーザは、メッセージ タイプ メニューを使用可能にして、どのメッセージを再生するかをキー入力で選択することができます (「ボイス メッセージは 1、電子メールは 2 を押してください ...」)。または、ユーザは Cisco Unity Assistant を使用して、電話でメッセージを確認するときに Connection が電子メール メッセージを最後に再生するように指定することもできます。 ボイス メッセージにアクセスする IMAP クライアント アプリケーションを設定したユーザは、ボイス メッセージをその他のメッセージとは別に保管するためのフォルダを、電子メール クライアント内に作成できます。 <p>ユーザは、また、Media Master のオプション メニューにある [名前を付けて保存] オプションを使用して、ボイス メッセージを WAV ファイルとしてハード ドライブ上に保存することができます。ただし、プライベート メッセージは、ユーザのハード ドライブ上に保存できません。また、メッセージの機密性に関係なく、ユーザがすべてのメッセージをハード ドライブ上に保存することを禁止できます。これを行うには、Cisco Unity Connection Administration の [System Settings] > [Advanced] > [PCA] ページで、[Unity Inbox: Disable Save Recording As Option in Media Master] チェックボックスをオンにします。</p>
メッセージの到着通知: 通知を繰り返すオプション	<p>ユーザが、新規メッセージが到着するたびに通知するように Cisco Unity Connection を設定していない場合、通知を繰り返す通話の間隔を長く設定すると、Connection が通知を遅延させているとユーザが考えることがあります。</p>
パスワードが保護されていない、またはユーザが使用したパスワードが間違っている	<p>ユーザは、電話パスワードと Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワードが同じ、または同期化されていると考えている可能性があります。その結果、初回登録時に Cisco Unity Connection によって電話パスワードの変更を要求されたときに、両方のパスワードが変更されると考える場合があります。また、Cisco PCA にログオンするときに、電話パスワードの使用を試みる場合もあります。</p>

表 6-1 考えられるユーザの疑問と誤解 (続き)

考えられる問題	説明
セキュアなメッセージング：制限	<p>ユーザがこの機能に期待することを明確にするため、プライベートおよびセキュアなメッセージング機能には次の制限があることを、ユーザ、管理者、およびヘルプデスクに通知することが重要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザがボイスメッセージを残す際、事前に別のユーザに電話をかけてボイスメールに転送していた場合は、メッセージにプライベートまたはセキュアのマークを付けることはできません。 セキュアなメッセージを複合化するのに必要なプライベートキーは、個々のユーザやワークステーションに固有のものではありません。このため、送信者による誤った宛先指定やシステムの問題などが原因で、セキュアなメッセージが意図しない受信者に送信される場合、受信者が送信者と同じ Connection サーバをホームとしていれば、Cisco Unity Connection はメッセージを受信するすべての受信者に対してメッセージを再生します。 IMAP クライアントでは、ユーザはセキュアなメッセージを送信することも、セキュアなメッセージを取得することもできません。ユーザがセキュアなメッセージを聞こうとすると、誘導用のメッセージが代わりに再生され、メッセージを聞くには電話で Connection にログオンするようユーザに通知されます。 [System Settings] > [Advanced] > [Secure Messaging] ページで、[Encrypt All Messages from Outside Callers] と [Encrypt All Private Messages from Users] の設定を使用可能にすると、ユーザが IMAP クライアントを使用してメッセージを聞くことはできなくなります。代わりに、ユーザは Connection ガイダンスからメッセージを聞く必要があります。
Connection ガイダンスの要素のスピードが変化する	<p>Cisco Unity Connection によるメニュー、ボイス名、グリーティング、およびメッセージの再生スピードが一定していないとユーザが報告する場合があります。たとえば、ユーザがメッセージを聞く際に、メッセージの再生スピードが、メッセージを残したユーザのボイス名やメッセージのプロパティ(タイムスタンプやメッセージ番号など)の再生スピードと異なっているとユーザが報告する場合があります。</p> <p>このような不整合は、次の制限によるものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Connection による名前の録音とグリーティングの再生スピードは、録音されたときのスピードになります。管理者もユーザも、名前の録音とグリーティングの再生スピードを変更できません。 Text to Speech (TTS; テキスト / スピーチ) を介して再生されるメッセージは、メッセージ再生設定に関係なく、デフォルトでは常に通常のスピードで再生されます。 管理者またはユーザがシステム プロンプト用に指定するスピードは、メッセージの再生スピードには反映されません。システム プロンプトとは、Connection システムに付属している標準の録音メッセージで、メッセージのプロパティに関するプロンプトなどが含まれます。 ユーザがメッセージ再生用に指定するスピードは、システム プロンプトには反映されません。
未読のメッセージ	<p>組織での Cisco Unity Connection の設定方法によっては、ユーザが新規メッセージを聞いているときに、電話が意図的または不意に切断された場合(たとえば、ユーザが電話を切った場合や、携帯電話がバッテリー切れまたは圏外になった場合)の Connection でのメッセージ処理に対して、ユーザが驚く場合があります。ユーザは、Connection によってそのメッセージが既読とマークされたと考えている場合がありますが、これは誤りです。</p> <p>管理者は、電話が切断された場合に Connection が未読メッセージを処理する方法を変更できます。これを行うには、Cisco Unity Connection Administration の [System Setting] > [Advanced] > [Conversations] ページで、[Mark Message Saved If User Hangs Up] の設定を調整します。</p>

表 6-1 考えられるユーザの疑問と誤解 (続き)

考えられる問題	説明
送信されないメッセージ	<p>組織での Cisco Unity Connection の設定方法によっては、メッセージの送信、返信、または転送の処理中に、電話が意図的または不意に切断された場合 (たとえば、ユーザが電話を切った場合や、携帯電話がバッテリー切れまたは圏外になった場合) の Connection でのメッセージ処理に対して、ユーザが驚く場合があります。ユーザは、未送信メッセージには Connection の下書きフォルダが使用されると考えている場合がありますが、これは誤りです。</p> <p>管理者は、電話が切断された場合に Connection が未送信メッセージを処理する方法を変更できます。これを行うには、Cisco Unity Connection Administration の [System Setting] > [Advanced] > [Conversations] ページで、[Send Message If User Hangs Up During Recording] の設定を調整します。</p>

■ サポートデスクのオリエンテーション



A

- Apple Mail、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-3
- Apple Safari、Cisco PCA にアクセスするための設定 1-2

C

- Cisco PCA
 - SSL 接続使用時のセキュリティ 警告の管理 1-6
 - アクセスするためのブラウザの設定 1-2
 - パスワードの保護と変更 1-4
- Cisco PCA パスワードの変更 1-4
- Cisco Personal Communications Assistant、「Cisco PCA」を参照
- Cisco Unified Personal Communicator、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-2
- Cisco Unity Inbox、低帯域幅環境のためのカスタマイズ 1-5

E

- Entourage、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-5
- Eudora、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-7

G

- GroupWise、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-17

I

- IBM Lotus Notes、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-9

M

- Media Master、～ について 2-2
- Microsoft Internet Explorer、Cisco PCA にアクセスするための設定 1-2
- Microsoft Outlook Express、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-13
- Microsoft Outlook、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-11
- Mozilla Firefox、Cisco PCA にアクセスするための設定 1-3

N

- Netscape、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-15
- Notes、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-9
- Novell GroupWise、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-17

O

- Opera、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-19

P

- Personal Communications Assistant

S

- SSL、セキュリティ 警告の管理 1-6
- SSL 接続使用時のセキュリティ 警告の管理 1-6

- T
- Thunderbird、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-21
- い
- 一杯になったメールボックス、ユーザの疑問への対処 6-6
- お
- オペレータのオリエンテーション 6-2
- オリエンテーション
- オペレータの 6-2
 - サポート デスクの 6-3
 - ユーザの 5-1
- か
- ガイダンス オプション
- Cisco Unity Assistant のユーザ設定 5-4
 - Connection ガイダンスのユーザ設定 5-4
- ガイダンスのスピード、ユーザの疑問への対処 6-8
- く
- グリーティング
- Cisco Unity Assistant のユーザ設定 5-4
 - Connection ガイダンスのユーザ設定 5-4
- こ
- 誤解、考えられるユーザの 6-3
- 個人設定
- Cisco Unity Assistant のユーザ設定 5-5
 - Connection ガイダンスのユーザ設定 5-5
- 個人連絡先、Cisco Unity パーソナル着信転送ルール 5-6
- さ
- 再生デバイス
- コンピュータのスピーカを使用する場合のイベント 2-3
 - 選択する場合の考慮事項 2-3
 - 電話を使用する場合のイベント 2-3
 - ユーザが指定する方法 2-4
- 削除されたメッセージ、ユーザの疑問への対処 6-4
- サポート デスク
- オリエンテーション 6-3
 - リソース 6-3
- す
- スクリーニング
- Cisco Unity Assistant のユーザ設定 5-4
 - Cisco Unity パーソナル着信転送ルール 5-6
- せ
- セキュリティ 警告
- SSL 接続使用時の管理 1-6
 - ユーザの疑問への対処 6-4
- 設定
- Cisco PCA にアクセスするためのブラウザ 1-2
 - ボイス メッセージにアクセスするための電子メール アプリケーション 3-1
- そ
- 送信されないメッセージ、ユーザの疑問への対処 6-9
- ち
- 遅延されたメッセージ、ユーザの疑問への対処 6-4
- 着信転送
- Cisco Unity Assistant のユーザ設定 5-4
 - Cisco Unity パーソナル着信転送ルール 5-6
 - Connection ガイダンスのユーザ設定 5-4, 5-6
- つ
- 通知先、Cisco Unity パーソナル着信転送ルール 5-6
- 通話保留
- Cisco Unity Assistant のユーザ設定 5-4
 - Cisco Unity パーソナル着信転送ルール 5-6

- て
- 低帯域幅環境、~のための Cisco Unity Inbox のカスタマイズ 1-5
 - 低帯域幅環境のための Cisco Unity Inbox のカスタマイズ 1-5
 - ディレクトリー覧、ユーザの疑問への対処 6-5
 - 電子メール アプリケーション、ボイス メッセージにアクセスするための設定 3-1
- は
- パスワード
- Cisco PCA の保護と変更 1-4
 - ユーザの疑問への対処 6-7
- 発信者オプション
- Cisco Unity Assistant のユーザ設定 5-4
 - Cisco Unity パーソナル着信転送ルール 5-6
- 発信者グループ、Cisco Unity パーソナル着信転送ルール 5-6
- ふ
- プライベート同報リスト
- Cisco Unity Assistant のユーザ設定 5-5
 - Connection ガイダンスのユーザ設定 5-5
- ブラウザ、Cisco PCA にアクセスするための設定 1-2
- め
- メッセージ タイプ、ユーザの疑問への対処 6-7
- メッセージの宛先指定
- Cisco Unity Assistant のユーザ設定 5-5
 - Connection ガイダンスのユーザ設定 5-5
- メッセージの聞き取り
- Cisco Unity Assistant のユーザ設定 5-5
 - Connection ガイダンスのユーザ設定 5-5
- メッセージの到着通知
- Cisco Unity Assistant のユーザ設定 5-5
 - Connection ガイダンスのユーザ設定 5-5
 - ユーザの疑問への対処 6-7
- ゆ
- ユーザのオリエンテーション 5-1
 - ユーザの誤解、考えられる 6-3
- ユーザの電話、設定用のタスク リスト 4-1
 - ユーザの電話の設定 4-1
- ろ
- 録音デバイス
- コンピュータのマイクロフォンを使用する場合のイベント 2-3
 - 選択する場合の考慮事項 2-3
 - 電話を使用する場合のイベント 2-3
 - ユーザが指定する方法 2-4